

平成23年度

入学者選拔要項



平成22年7月

大 分 大 学

目 次

【全学部共通事項】

大分大学アドミッション・ポリシー	5
1. 志望学部・学科等	6
2. 出願資格	6
3. 選抜方法	7
4. 障がいのある者等の事前相談	7

【教育福祉科学部】

教育福祉科学部アドミッション・ポリシー	1 1
5. 教育福祉科学部募集人員	1 4
6. 一般入試前期日程	1 6
7. 一般入試後期日程	2 4
8. 推薦入試	3 0

【経済学部】

経済学部アドミッション・ポリシー	3 9
9. 経済学部募集人員	4 2
10. 一般入試前期日程	4 3
11. 一般入試後期日程	4 5
12. 推薦入試	4 7

【医学部】

医学部アドミッション・ポリシー	5 1
13. 医学部募集人員	5 4
14. 一般入試前期日程	5 5
15. 一般入試後期日程	5 7
16. 推薦入試	5 9

【工学部】

工学部アドミッション・ポリシー	6 3
17. 工学部募集人員	6 7
18. 一般入試前期日程	6 8
19. 一般入試後期日程	7 0
20. 推薦入試	7 2

【教育福祉科学部・経済学部・医学部・工学部】

21. アドミッション・オフィス入試（AO入試）	8 1
22. 帰国子女入試	8 3
23. 中国引揚者等子女入試	8 4
24. 社会人入試	8 5
25. 私費外国人留学生入試	8 7

【一覧表等・その他】

入学者選抜方法等	9 3
平成 23 年度大分大学入学者選抜の実施教科・科目等一覧表	9 6
平成 24 年度入学者選抜方法についてー予告ー	1 0 3
募集要項の発表時期・請求方法	1 0 6

【全学部共通事項】

大分大学アドミッション・ポリシー

基本理念

人間と社会と自然に関する教育と研究を通じて、豊かな創造性，社会性及び人間性を備えた人材を育成するとともに，地域の発展ひいては国際社会の平和と発展に貢献し，人類福祉の向上と文化の創造に寄与することです。

教育の目標

1. 学生の立場にたった教育体制のもとで，広い視野と深い教養を備え，豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を育成します。
2. ゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を修得し，創造性と応用力に富んだ人材を育成します。
3. 高い学習意欲をもち，たゆまぬ探究心と総合的な判断力を身につけ，広く世界で活躍できる人材を育成します。

求める学生像

意欲をもち，将来への可能性を秘めている人を求めています。

1. 幅広く，より深く学ぶための基礎的能力をもっている人
2. 旺盛な知的好奇心をもち，新しい課題に積極的に取り組む人
3. 自分のもつ資質を磨き，能力を伸ばしたい人
4. 夢や目的をもち，周囲と協力しつつその実現に向けて努力する人
5. 志をもって国際社会及び地域社会への貢献をめざす人

1. 志望学部・学科等

国公立大学（※独自日程で入学者選抜試験を行う公立大学・学部を除く。）入学志願者は、一般入試（個別学力検査）について、前期日程から一つ、後期日程から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。なお、本学のみに出願する場合、前期日程と後期日程において学部・学科等の組み合わせに制限はありません。

（1）教育福祉科学部

志望できるコース・分野は、前期日程及び後期日程とも一つのみです。

（2）経済学部

前期日程及び後期日程とも募集人員を一括して募集し、入学後に経済学科、経営システム学科又は地域システム学科の専攻を決定します。

（3）医学部

志望できる学科は、前期日程及び後期日程とも一つのみです。（ただし、医学部医学科は後期日程は実施しません。）

（4）工学部

ア) 志望できる学科は、前期日程及び後期日程とも第3志望まで認めます。ただし、福祉環境工学科については、建築コースとメカトロニクスコースでコース別に募集します。従って、第1～第3志望を選択するときは、機械・エネルギーシステム工学科、電気電子工学科、知能情報システム工学科、応用化学科、福祉環境工学科（建築コース）、福祉環境工学科（メカトロニクスコース）の中から志望順に3つまでを選択することになります。

イ) 前期日程において、**第2志望以下**での**個別学力検査**での**理科の受験科目**は入学者選抜の実施教科・科目等（68 ページ）を参照してください。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/nyushi>）参照

2. 出願資格

平成23年度大学入学者選抜「**大学入試センター試験**」で本学が指定する**教科・科目を受験した者**で、次のいずれかに該当するものです。

（1）高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者

（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成23年3月修了見込みの者

（3）学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成23年3月31日までにこれに該当する見込みの者

なお、同条第7号により出願を希望する者は、事前に入学資格認定の審査を行いますので、学生支援部入試課入試企画グループへ申し出てください。

<参考>学校教育法施行規則第150条第7号

大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

大分大学学生支援部入試課入試企画グループ（TEL097-554-7471）

※1. 学校教育法第90条第2項による高校2年生からのいわゆる飛び入学については、本学では実施しません。

2. 学校教育法施行規則第150条第6号に該当する者が受験できる学部は、教育福祉科学部、経済学部、工学部です。
3. 出願資格のない者が受験しても合格とならないので注意してください。

なお、推薦入試の志願者は教育福祉科学部：30～34 ページ、経済学部：47 ページ、医学部：59 ページ、工学部：72～77 ページを参照してください。また、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、帰国子女入試、中国引揚者等子女入試、社会人入試及び私費外国人留学生入試の志願者については81～89 ページを参照してください。

3. 選抜方法

入学者の選抜は、大学入試センター試験、個別学力検査等及び調査書に基づいて総合判定します。

(1) 調査書について

出身高等学校長等が作成したものとします。

(2) 過年度の大学入試センター試験成績の利用について

本学では平成23年度の入学試験において、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。

(3) 第1段階選抜について

医学科及び看護学科において、入学志願者が著しく多い場合は、大学入試センター試験の成績（傾斜後の得点）により、次のとおり第1段階選抜を行います。

①前期日程

医学科は募集人員の約3倍、看護学科は募集人員の約6倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

②後期日程

看護学科は募集人員の約7倍までを合格者とし、その合格者に対して個別学力検査等を実施します。

なお、推薦入試の志願者は教育福祉科学部：30～34 ページ、経済学部：47 ページ、医学部：59 ページ、工学部：72～77 ページを参照してください。また、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、帰国子女入試、中国引揚者等子女入試、社会人入試及び私費外国人留学生入試の志願者については81～89 ページを参照してください。

4. 障がいのある者等の事前相談

障がいを有する等、受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする可能性がある入学志願者については、下記要領で申し出てください。

(1) 申出期限

募集要項にて発表します。ただし、期限後に不慮の事故等により障がいのある状態になった場合には、その旨申し出てください。

(2) 申出方法

申請書（健康診断書等必要書類添付）を提出し、必要な場合は本学において、志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

(3) 申出先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
大分大学学生支援部入試課入試企画グループ
Tel.097-554-7471

【教育福祉科学部】
一般入試前期日程
一般入試後期日程
推薦入試

教育福祉科学部アドミッション・ポリシー

基本理念

教育・人間福祉を基盤とする教育・研究を推進し、地域の教育・社会・文化の発展のため、専門的知識を創造的・総合的に活用できる人材の養成を行い、豊かな共生社会の実現に寄与することです。

教育の目標

- 1 9年間の義務教育を見渡すことのできる広い視野と福祉の心を持ち、教育の現場で澁刺と活躍しうる実践的指導力のある教員を養成します。(学校教育課程)
- 2 「大分から世界へ」を合言葉に国際理解、情報処理、総合的芸術表現に関する教育・研究を行い、国際化社会・高度情報化社会に対応する感性豊かな発想と表現力をもつ人材を育成します。(情報社会文化課程)
- 3 子どもや高齢者、さまざまな障がいをもつ人などを対象とした社会福祉や、すべての人たちが、心身ともに健康で、安心して暮らせる社会の実現をめざす心理・スポーツ健康・生活・環境などの多様な分野で、「人間福祉」の視点をもって活躍しうる人材を養成します。(人間福祉科学課程)

求める学生像

学校教育課程

- ・教育に取り組む意欲と情熱のある人
- ・現代の人間・社会の諸問題に興味・関心のある人
- ・自ら問題を解決しようと努力する人
- ・子どもと信頼しあい、ともに学び行動できる人
- ・他者への思いやりがあり、周囲と積極的に協力しあえる人

情報社会文化課程

- ・知的好奇心が旺盛で、自己表現のための努力を惜しまない人
- ・国際化・高度情報化社会で活躍する意欲のある人
- ・自国と他国の社会や文化に対する理解を深めたい人(社会文化コース)
- ・情報技術を利用して、「情報発信」をめざす人(情報教育コース)
- ・地域文化の創造に貢献する志のある人(総合表現コース)

人間福祉科学課程

- ・すべての人々がともに生きる社会の実現をめざし、自ら考え、実践・努力する人
- ・生活上の困難に出合った人の苦しみや悩みに共感し、ともに解決の方法を考えようとする人(社会福祉コース)
- ・他人の心の痛みを理解し、相互成長的な人間関係づくりをめざす人(心理分野)
- ・健康と生涯スポーツに深い関心を持ち、それに関わる事業や活動に積極的に取り組める人(スポーツ・健康分野)
- ・衣・食・住の各面において、これからのライフスタイルのあり方を構想していける人(生活分野)
- ・人間生活を中心に、自然・社会など個々の生活環境について深い興味と問題意識をもっている人(環境分野)

入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試、社会人入試などを実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

- ・一般入試（前期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験は主に5～6教科7科目とし、個別学力検査では募集単位ごとに小論文及び教科の試験又は実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力（文章構成力を含む）をみます。実技検査では技能、感性、基礎運動能力及び表現力の基本的な資質をみます。

- ・一般入試（後期日程）

総合的な学力をみるため、大学入試センター試験と個別学力検査を課しています。大学入試センター試験で指定する教科・科目は募集単位ごとに決められています。また個別学力検査は募集単位ごとに面接、小論文又は実技検査を課しています。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現能力をみます。

- ・推薦入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接（募集単位によっては実技、作品審査が加わる）及び提出書類（募集単位によっては作品を含む）を総合的に判断して選考します。人間福祉科学課程生活環境福祉コース生活分野では大学入試センター試験を課しています。

- ・帰国子女入試、中国引揚者等子女入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。帰国子女入試は情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

- ・社会人入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、一部のコースにおいて面接に代えて実技検査を課しています。小論文では論理的思考力、表現力をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。情報社会文化課程及び人間福祉科学課程（生活環境福祉コースを除く）のみで実施しています。

- ・私費外国人留学生入試

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接（募集単位によっては実技検査が加わる）及び提出書類を総合して選考します。ただし、出願資格として日本留学試験を受験し所定の要件を満たしていることが必要です。小論文では論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では勉学意欲、積極性、理解力及び自己表現力をみます。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

本学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解し、習得していることを前提として行われます。このような点から、大学入試センターで受験を課している教科・科目について、および前期日程において各コース・分野で課している教科・科目についてはその基礎を十分に理解し、習得するとともに、応用的な力を養うことが必要です。特別選抜（生活分野を除く）や後期日程入試においては、これら教科・科目の学科試験は課していませんが、大学入学までにこれらの教科・科目を履修し、習得していることが望まれます。

国語：言語を通して的確に理解し、論理的に思考し表現すること、なかでも、文章や資料等を的確に理解し、論理的に考え、話したり書いたりすることに習熟していることが必要です。また、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合うことや我が国の言語文化や国語の役割や特質について理解を深めようとする意欲にあふれていることが望まれます。

地理歴史・公民：地理歴史科及び公民科における各科目の学習を通じて、基礎的な知識や技能を習得するとともに、地理、歴史及び現代社会に対する見方・考え方を身につけておくことが必要です。また、現代社会や世界には多様な価値観や考え方があることを理解するとともに、身近な地域や社会、世界で起こっている出来事や社会的事象に対して普段から興味や関心を持つことが望まれます。

数学：数学の基本的概念や原理・法則を理解するとともに、基礎的な計算技能を習得する必要があります。また、数学的な見方・考え方を身に付け、物事を数学的に判断・処理する能力を磨くことも望まれます。単に公式を暗記して問題に当てはめるのではなく、よりよい解法を求めて、既習の知識・技能を活用する姿を期待します。

理科：理科においては自然や科学に対する関心や探求心を土台として、各科目における基礎的な概念については一定の理解をし、科学的な自然観を持つことが必要です。さらに単に暗記した知識を問題に当てはめるだけでなく、科学的・論理的な思考を展開するために必要な見方や考え方を身につけていることも望まれます。

外国語（英語）：外国語（英語）を聞くこと、話すこと、読むこと、書くことに関する基礎的な能力を身につけ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲にあふれていることが望まれます。特に情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする力を養い、国際社会に生きる人間としての精神と外国語の力を持つことが必要です。

5. 教育福祉科学部募集人員

一 般 入 試

学部	課程・コース 【注1】	入学定員	募 集 人 員					
			前 期 日 程		後 期 日 程			
教育福祉	発達教育コース	25	19 ②【注2】		6			
	特別支援教育コース	10	3 ②【注2】		2			
	学校教育課程 教科教育コース	65	39 ② 【注2】	小論文と国語	6名程度	10		
				小論文と社会認識	6名程度			
				小論文と数学	6名程度			
				小論文と理科	6名程度			
				小論文と実技(音楽)	3名程度			
				小論文と実技(美術)	3名程度			
				小論文と実技(保体)	3名程度			
				小論文と生活認識	2名程度			
小論文と英語	4名程度							
小 計	100	61		18				
科学部	情報文化課程 社会文化コース	15	7 ①②③【注2】		3			
	情報教育コース	20	11 ①②③【注2】		4			
	総合表現コース	15	7 ①②③【注2】		3			
	小 計	50	25		10			
人間福祉科学課程	社会福祉コース	35	24 ①②③【注2】		5			
	心理健康福祉コース	30	14 ①②③ 【注2】	心理分野	7	8	心理分野	3
				スポーツ・健康分野	7		スポーツ・健康分野	5
	生活環境福祉コース	30	20 ② 【注2】	生活分野	10	6	生活分野	3
				環境分野	10		環境分野	3
小 計	95	58		19				
計	245	144		47				

【注1】教育福祉科学部のコース内の所属について

ア) 学校教育課程発達教育コース及び教科教育コースの入学者は、本人の希望と1年生前学期における成績をもとに、1年生後学期から次の各選修への所属を決定します。

発達教育コース 「教育学(10)」「教育心理学(10)」「幼年教育(5)」

教科教育コース 「国語(8)」「社会(8)」「数学(8)」「理科(8)」「音楽(5)」

「美術(5)」「保健体育(5)」「技術(5)」「家庭科(5)」「英語(8)」

※ ()内は推薦入試等他の選抜での入学者を含めた各選修のおおよその定員です。

イ) 人間福祉科学課程心理健康福祉コース及び生活環境福祉コースの入学者は、入学後直ちに出席した分野に所属します。

心理健康福祉コース 「心理分野」「スポーツ・健康分野」

生活環境福祉コース 「生活分野」「環境分野」

【注2】各募集人員の①②③は次の入試の募集人員を含みます。

①帰国子女入試(若干名) ②中国引揚者等子女入試(若干名) ③社会人入試(若干名)

推 薦 入 試

学部	課程・コース	入学定員	選修区分等	募集人員	
教育福祉学部	特別支援教育コース	10		5	
	学校教育課程 教科教育コース	65	音楽選修	2	
			美術選修	2	
			保健体育選修	2	
			技術選修 【注】	4	
			家庭科選修	3	
			英語選修	3	
	小 計			21	
	情報文化課程 社会科学	社会文化コース	15		5
		情報教育コース	20		5
		総合表現コース	15		5
		小 計			15
	人間福祉科学課程	社会福祉コース	35	福祉に関する学科・課程から	1
				普通科を含むその他の学科・課程から	5
		心理健康福祉コース	30	心理分野	5
				スポーツ・健康分野	3
		生活環境福祉コース	30	生活分野	2
				環境分野	2
	小 計			18	
	計			54	

【注】工業に関する学科・課程，総合学科からの合格者数は，普通科等からの合格者数を下回らないように選抜します。ただし，合格者数が募集人員に達しない場合は，この限りではありません。

6. 一般入試前期日程

6-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【教育福祉科学部・前期日程】

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の教科・科目等	備考
教育福祉科学部	学校	発達教育コース	小論文と 英語〔英語Ⅱ〕	個別学力検査は小論文と1教科（理科は1科目）又は小論文と実技検査になります。 なお、教科教育コースは教科・科目等の複数選択はできません。
		特別支援教育コース	小論文と 国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B〕 英語〔英語Ⅱ〕 から 1教科 (複数教科選択可)	
	教科教育コース	小論文と 国語 社会認識を問う問題 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 理科〔物理Ⅰ〕 〔化学Ⅰ〕 〔生物Ⅰ〕 〔地学Ⅰ〕 から1科目 実技検査〔音楽〕(20ページ参照) 実技検査〔美術〕(20ページ参照) 実技検査〔保健体育〕(20ページ参照) 生活認識を問う問題 英語〔英語Ⅱ〕		
		国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (6教科7科目)		
		国語「国語」 1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } 地歴公民から2科目と理科から1科目又は理科から2科目と地歴公民から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5～6教科7科目)		

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の教科・科目等
学部 (課程・コース)			
教育福祉文化課程	情報	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } から1科目 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (6教科7科目)	国語と 英語〔英語Ⅱ〕
	社会文化	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } から2科目 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科7科目)	英語〔英語Ⅱ〕と 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・ 数学A・数学B〕 理科〔物理Ⅰ〕 〔化学Ⅰ〕 〔生物Ⅰ〕 〔地学Ⅰ〕 } から1教科 (理科は1科目) (複数教科選択可)
	総合表現	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } から1教科 1科目 又は 2科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目と 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } 計2科目 から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (3教科3～4科目)	実技検査 (21ページ参照)

学部 (課程・コース)		試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の教科・科目等	備考
教育福祉科学部	人間福祉科学課程	社会福祉コース	国語「国語」 1科目 (6教科7科目) 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目	小論文と英語〔英語Ⅱ〕	個別学力検査は小論文と1教科(理科は1科目)又は実技検査と1教科になります。
		心理健康福祉コース	心理分野 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目	小論文と国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 } から1教科 英語〔英語Ⅱ〕 (複数教科選択可)	
			スポーツ・健康分野 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } から1科目 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	実技検査(21ページ参照)と国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 } から1教科 英語〔英語Ⅱ〕 (複数教科選択可)	
	生活環境福祉コース	生活分野	国語「国語」 1科目 (5～6教科7科目) 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } 地歴公民から2科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } と理科から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 } 又は理科から2科目 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } と地歴公民から1科目 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」	小論文と国語 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 } から1教科 英語〔英語Ⅱ〕 (複数教科選択可)	
		環境分野	外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目	小論文と理科〔物理Ⅰ〕 } から1科目 〔化学Ⅰ〕 } 〔生物Ⅰ〕 } 〔地学Ⅰ〕 }	
			国語「国語」 1科目 (5教科7科目) 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 } から2科目 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目		

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

- ア) この表中の「 」及び「 」書きは、科目の区分を示します。
- イ) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

- ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。) なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を 200 点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200 点満点)の得点のみを利用します。
- イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

- ア) 国語は(国語総合)に(国語表現Ⅰ, 現代文, 古典)を加えた出題範囲とします。
- イ) 数学Bの出題範囲については、次のとおりです。(数列, ベクトル)
- ウ) 小論文では、現代社会が抱えるさまざまな課題について、基礎的理解力, 論理的・科学的思考力や文章表現力などを問います。
- エ) **前期日程**実技検査等の内容は、20～21ページのとおりです。

前期日程実技検査等の内容（表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該コース・分野等に関わる資質を評価します。）

課程等		検査項目	検査の内容	検査当日持参するもの																
学 校 教 育 課 程	音 楽 (全項目 必須です)	聴 音	単旋律の書き取りの検査を行います。	筆記用具																
		コール ユーブンゲン	コールユーブンゲン第1巻, No.39～71 (原書番号)の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法, 移動ド唱法のいずれかで歌ってください。																	
		声 楽	次の歌曲の中から1曲を選び, 暗譜, 原語で歌ってください。 (歌う曲の作曲者・曲名は所定の曲目調査票に記入の上, 志願書とともに提出してください。なお, 移調を希望する場合は, 曲目調査票の当該欄に○印をつけ, 伴奏譜を志願書とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。) <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>* Sebben, crudele</td> <td>A.カルダーラ</td> <td>作曲</td> <td>ニ短調</td> </tr> <tr> <td>* Nina</td> <td>ペルゴレージ</td> <td>作曲</td> <td>ホ短調</td> </tr> <tr> <td>* Nel cor più non mi sento</td> <td>パイズィエツロ</td> <td>作曲</td> <td>ヘ長調</td> </tr> <tr> <td>* 叱られて</td> <td>弘田 竜太郎</td> <td>作曲</td> <td>変イ長調</td> </tr> </table>	* Sebben, crudele	A.カルダーラ	作曲	ニ短調	* Nina	ペルゴレージ	作曲	ホ短調	* Nel cor più non mi sento	パイズィエツロ	作曲	ヘ長調	* 叱られて	弘田 竜太郎	作曲	変イ長調	
		* Sebben, crudele	A.カルダーラ	作曲	ニ短調															
	* Nina	ペルゴレージ	作曲	ホ短調																
* Nel cor più non mi sento	パイズィエツロ	作曲	ヘ長調																	
* 叱られて	弘田 竜太郎	作曲	変イ長調																	
器 楽 (ピアノ)	ハイドン, モーツァルト, ベートーヴェンのピアノソナタの中から1曲を選び, 第1楽章又は終楽章(ただし, 緩徐な楽章は除きます。)を暗譜, 繰り返しなしで演奏してください。 (演奏する曲の作曲者・曲名・楽章等は, 所定の曲目調査票に記入の上, 志願書とともに提出してください。)																			
美 術	実 技	鉛筆により B3画用紙に静物の描写を行います。	鉛筆 消しゴム ネリゴム																	
	保健体育	体育実技	1. 基礎的運動能力(短距離走, 立ち幅とび, 反復横とび, 3分間シャトル走) 2. 身体及び用具操作の基礎的能力	運動服 屋内用スポーツシューズ 屋外用スポーツシューズ (スパイク不可)																

課程等	検査項目	検査の内容	検査当日持参するもの	
情報 社会 文化 課程	総合表現 実 技	次のAからCの中から1項目を選択してください。		
		A. 身体表現：与えられた課題に基づいて、5分程度の身体による作品を創作し、演技してください。創作時間は昼食を挟んで約3時間です。	表現に適した服装。床面の都合でトウシューズは使用できません。	
		B. 美術表現：鉛筆により木炭紙大の用紙に描写を行います。検査時間は昼休みを挟んで10時から16時までの約5時間です。	鉛筆描写に必要な用具 (カルトンと用紙は本学が準備します)	
		C. 音楽表現：次の2つの検査を行います。 1. コールユーブンゲン コールユーブンゲン第1巻, No. 4 5～7 1 (原書番号) の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法, 移動ド唱法のいずれかで歌ってください。 2. 音楽による自己表現 任意の楽曲を1曲選び(志願者が作曲した楽曲でもかまいません。), 演奏してください。演奏手段は, 歌, ピアノのいずれかです。 *本学所定の曲目調査票に演奏曲目等を記入し, 志願書とともに提出してください。 *歌の場合は, 志願者氏名を明記したピアノ伴奏譜を, 志願書, 曲目調査票とともに提出してください(伴奏者は本学が用意します)。		
人科 間学 福課 祉程	心理健康 福祉 (スポーツ・健康)	基礎実技	与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査	運動服 屋内用スポーツシューズ

【注1】実技で昼食が必要な場合には、検査時間中に昼食時間帯を設けますので、検査場に昼食を持参してください。

【注2】実技検査等の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のことはお答えできません。

6-Ⅱ. 個別学力検査等の日程【教育福祉科学部・前期日程】

日程及び選択科目の選択方法について

志望する課程 ・コース等		検査日	2月25日(金)			2月26日(土) (実技検査)	備考 (教科・科目 の選択方法)	
学校教育課程	発達教育コース		◎小論文		◎英語			
	特別支援教育コース	△数学	◎小論文	△国語	△英語		複数教科選択可	
	教科教育コース	△数学	◎小論文	△国語 △社会認識 △理科 △生活認識	△英語	△音楽 △美術 △保健体育	小論文と 1教科選択	
情報 社文化課程	社会文化コース			◎国語	◎英語			
	情報教育コース	△数学		△理科	◎英語		複数教科選択可	
	総合表現コース					◎(詳細は実技検査の内容参照)		
人間福祉科学課程	社会福祉コース		◎小論文		◎英語			
	心理健康福祉コース	心理分野	△数学	◎小論文	△国語	△英語		複数教科選択可
		スポーツ・健康分野	△数学		△国語	△英語	◎	複数教科選択可
	生活環境福祉コース	生活分野	△数学	◎小論文	△国語	△英語		複数教科選択可
環境分野			◎小論文	◎理科				

【注1】◎は必須，△は選択を示します。

【注2】筆記試験は当該試験終了まで退室できません。遅刻による試験室への入室限度時刻は，試験開始後20分です。

6-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点【教育福祉科学部・前期日程】

学部	課程	コース (分野)	大学入試センター試験					個別学力検査等								合計点
			国語	地歴 公民	数学① 数学②	理科① 理科② 理科③	外国語	国語	社会認 識を問 う問題	数 学	理 科	英 語	生活認 識を問 う問題	実 技	小論文	
教育福祉科学部	学校教育	発達教育	100	50×2	50×2	50	100					100			100	650
		特別支援教育						[100]		[100]						
		教科教育 ※	100	50×2 50	50×2	50 50×2	100	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)		
	情報社会文化	社会文化	100	50×2	50×2	50	100	100				100			650	650
		情報教育	100	50	50×2	50×2	100			[100]	[100]	100				
		総合表現	100	100	50×2		100							350		
	人間福祉科学	社会福祉	100	50×2	50×2	50	100					100			150	700
		心理健康福祉 (心理)						[100]		[100]		[100]		150		
		心理健康福祉 (スポーツ・健康)	[100]		[100]		[100]		150							
		生活環境福祉 (生活) ※	100	50×2 50	50×2	50 50×2	100	[100]		[100]		[100]		150		
		生活環境福祉 (環境)	100	50	50×2	50×2	100				100			150		

【注1】 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】 個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注3】 大学入試センター試験の配点は、複数の教科・科目を受験した場合、高得点のものを合否判定に使用します。

【注4】 大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。) なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの成績の合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。次に上記の表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

【注5】 個別学力検査等の()書きの配点は、1教科選択を示します。

【注6】 個別学力検査等の[]書きの配点は、複数の教科・科目を受験できますが、高得点のものを合否判定に使用します。

※ 教科教育コース及び生活環境福祉コース(生活分野)にて、大学入試センター試験で地歴と公民から2科目を受験した場合、及び理科①、理科②、理科③から2科目又は3科目を受験した場合は、それぞれ高得点(地歴公民から2科目と理科から1科目又は理科から2科目と地歴公民から1科目)のものを合否判定に使用します。

7. 一般入試後期日程

7-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【教育福祉科学部・後期日程】

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の教科・科目等	備考
学部 (課程・コース)				
教育福祉科学部	発達教育 コース	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 から1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目	面接	
	特別支援 教育コース	数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 } から1科目 理科③「物理I」「地学I」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (6教科7科目)		
	教科教育 コース	国語「国語」 1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 理科③「物理I」「地学I」 } 地歴公民から2科目 と理科から1科目 又は理科から2科目 と地歴公民から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5～6教科7科目)		

試験区分 学部 (課程・コース)		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の 教科・科目等	備 考
教 育 福 祉 学 部	情報 社会 文化 課程	社会文化 コース 国 語「国語」 1科目 地 歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (3教科3科目)	面 接	
	情報教育 コース	国 語「国語」 1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } から1科目 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (4教科5科目)		
	総合表現 コース	国 語「国語」 1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (2教科2科目)		

学部 (課程・コース)		試験区分	大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査等の 教科・科目等	備 考	
教育福祉科学部	人間福祉科学課程	社会福祉コース	国 語「国語」 1科目 地 歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目 公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 から1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 理科③「物理I」「地学I」 } から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (6教科7科目)	小論文		
		心理健康福祉コース	心理分野	面接		
		スポーツ・健康分野	実技検査 (27ページ参照)			
	人間福祉科学課程	生活環境福祉コース	生活分野	国 語「国語」 1科目 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 地 歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 理科③「物理I」「地学I」 } 地歴公民から2科目 と理科から1科目 又は理科から2科目 と地歴公民から1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5～6教科7科目)	面接	
			環境分野	地 歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 数学①「数学I・数学A」 1科目 数学②「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科①「理科総合B」「生物I」 理科②「理科総合A」「化学I」 理科③「物理I」「地学I」 } から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目)		
		環境コース	国 語「国語」 1科目			

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

ア) 小論文のねらいについては下記のとおりです。

人間福祉 科学課程	社会福祉コース	現代社会の抱える課題や本コースに関わる問題への関心や理解力、論理的・科学的思考力、表現力などを問います。また、人間と社会及びその両者の関係性を広く、全体的かつ客観的にとらえる力とそこに生じる諸問題を分析、考察する際の視点と発想を問います。
--------------	---------	---

イ) 面接は複数の面接委員により行い、当該コース・分野等への関心、意欲、理解力、表現力などを評価します。

ウ) **後期日程**実技検査等の内容(表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該コース・分野などに関わる資質を評価します。)

課 程 等	検査 項目	検 査 の 内 容	検査当日持参 するもの
情報社会文化課程 総合表現コース	実技	検査室内の約5m×5m、天井までの高さ約3mの空間で、自由な方法やテーマでの自己表現を行います。 1) 検査方法について ・検査は検査室に一人ずつ入室して行います。 ・入室してから表現を完了し、退出するまでの検査時間は8分以内です。 ・自分や他人に対して危険なことや器物を損壊するようなこと、その他きわめて非常識と思われることは禁止します。 ・あらかじめ制作、創作した作品を発表してもかまいません。 ・表現に使用する用具や材料は各自で持参し、準備してください。 2) 検査室について ・電源は使用できます(交流100V, 15A)。 ・検査室にはピアノがあり、それを使用することができます。 ・検査室には土足で入室できませんが、自分の表現に適した上履きを用いてもかまいません。 ・検査室にはCD, MD, カセットデッキがあり、これらを使用することができます。 3) その他 ・検査室には、机・椅子がありますが、これらを自己表現の素材として使用することはできません。	ピアノ以外の表現 に使用する用具や 素材は各自持参し てください。
人間福祉科学課程 心理健康福祉コース (スポーツ・健康分野)	基礎 実技	与えられた運動課題を遂行する基礎的能力の検査を行います。	運動服 屋内用スポーツシューズ

【注1】 実技検査の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のことはお答えできません。

【注2】 総合表現コースの実技検査内容は、前期日程と後期日程とでは異なっていますので、十分注意してください。

7-Ⅱ. 個別学力検査等の日程【教育福祉科学部・後期日程】

検査期日	課 程	コ ー ス 等		検査科目等	備 考
3月12日(土)	学校教育課程	発 達 教 育 コ ー ス		面 接	面接・実技を受験する者は検査時間中に昼食時間帯を設ける場合がありますので検査場に昼食を持参してください。
		特 別 支 援 教 育 コ ー ス		面 接	
		教 科 教 育 コ ー ス		面 接	
	情報社会文化課程	社 会 文 化 コ ー ス		面 接	
		情 報 教 育 コ ー ス		面 接	
		総 合 表 現 コ ー ス		実 技	
	人間福祉科学課程	社 会 福 祉 コ ー ス		小論文	
		心理健康福祉コース	心理分野	面 接	
			スポーツ・健康分野	実 技	
		生活環境福祉コース	生活分野	面 接	
環境分野	面 接				

【注1】筆記試験は当該試験終了まで退室できません。遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後20分です。

【注2】面接検査及び実技検査開始時刻に遅刻した場合は、検査の説明開始から受験者の1組目または1人目の試験が始まるまでに限り、受験を認めます。

7-Ⅲ. 大学入試センター試験及び個別学力検査等の配点【教育福祉科学部・後期日程】

学部	課程	コース (分野)	大学入試センター試験					個別学力検査等			合計点
			国語	地歴 公民	数学① 数学②	理科① 理科② 理科③	外国語	面接	実技	小論文	
教育福祉科学部	学校教育	発達教育	100	50×2	50×2	50	100	100			550
		特別支援教育						100			
		教科教育※	100	50×2 50	50×2	50 50×2	100	100			
	情報社会文化	社会文化	150	100			150	100			500
		情報教育	100		50×2	50	150	100			
		総合表現	100				100		300		
	人間福祉科学	社会福祉	100	50×2	50×2	50	100			150	600
		心理健康福祉 (心理)						150			
		心理健康福祉 (スポーツ・健康)							150		
		生活環境福祉 (生活)※	100	50×2 50	50×2	50 50×2	100	150			
生活環境福祉 (環境)		100	50	50×2	50×2	100	150				

【注1】 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】 個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注3】 大学入試センター試験の配点は、複数の教科・科目を受験した場合、高得点のものを合否判定に使用します。

【注4】 大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの成績の合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。次に上記の表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

※ 教科教育コース及び生活環境福祉コース(生活分野)にて、大学入試センター試験で地歴と公民から2科目を受験した場合、及び理科①、理科②、理科③から2科目又は3科目を受験した場合は、それぞれ高得点(地歴公民から2科目と理科から1科目又は理科から2科目と地歴公民から1科目)のものを合否判定に使用します。

8-1. 推薦入試

実施学部及び 募集人員等	教育福祉科学部			
課 程	コース	選修・分野	募集 人員	推薦人員
学 校 教 育 課 程	教 科 教 育 コ ー ス	保 健 体 育 選 修	2	各高等学校等から 2 名以内
情 報 社 会 文 化 課 程	社 会 文 化 コ ー ス		5	各高等学校等から 2 名以内
	情 報 教 育 コ ー ス		5	各高等学校等から 2 名以内
人 間 福 祉 科 学 課 程	社 会 福 祉 コ ー ス		6	各高等学校等から 2 名以内
	心 理 健 康 福 祉 コ ー ス	心 理 分 野	5	各高等学校等から 1 名
<p>〔出願資格〕 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成 23 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 22 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望するコース（選修・分野）への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査書の学習成績概評が A段階 に属する者 2. 人物的に優れ，かつ，志望するコース，選修，分野の学習に熱意を有する者（社会福祉コースでは，社会福祉に強い関心と実践的な意欲を有する者） 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 				
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，志望理由書，推薦書，スポーツ等に関する調査書（保健体育選修のみ）及び下記検査により選考します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>(教科教育コース，保健体育選修)</p> <p>(社会文化コース)</p> <p>(情報教育コース)</p> <p>(社会福祉コース)</p> <p>(心理健康福祉コース，心理分野)</p> </div> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">}</div> <p>小論文，面接</p> </div>			
出 願 期 間	平成 22 年 11 月 2 日（火）～ 9 日（火）（土日及び祝日を除く）			
選 抜 期 日	平成 22 年 12 月 1 日（水）			
合 格 者 発 表 日	平成 22 年 12 月 14 日（火）			

8-Ⅱ. 推薦入試

実施学部及び 募集人員等	教育福祉科学部			
課 程	コ ー ス	選修・分野	募集 人員	推薦人員
学 校 教 育 課 程	特別支援教育コース		5	各高等学校等から 2 名以内
	教科教育コース	音 楽 選 修	2	各高等学校等から 2 名以内
		美 術 選 修	2	各高等学校等から 2 名以内
		家 庭 科 選 修	3	各高等学校等から 2 名以内
	英 語 選 修	3	各高等学校等から 1 名	
情報社会文化課程	総合表現コース		5	制限なし
人間福祉科学課程	心理健康福祉コース	スポーツ・健康分野	3	各高等学校等から 2 名以内
<p>〔出願資格〕 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成 23 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 22 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望するコース（選修・分野）への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，かつ，志望するコース，選修，分野の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 				
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，志望理由書，推薦書及び下記検査により選考します。</p> <p>(教科教育コース，音楽選修) 小論文，実技，面接</p> <p>(教科教育コース，美術選修) 作品審査，実技，面接</p> <p>(特別支援教育コース) } 小論文，面接</p> <p>(教科教育コース，家庭科選修) }</p> <p>(教科教育コース，英語選修) 小論文，面接（ともに英語による内容を含む。）</p> <p>(総合表現コース) } 小論文，面接，実技</p> <p>(心理健康福祉コース，スポーツ・健康分野) }</p>			
出 願 期 間	平成 22 年 11 月 2 日（火）～ 9 日（火）（土日及び祝日を除く）			
選 抜 期 日	平成 22 年 12 月 1 日（水）			
合 格 者 発 表 日	平成 22 年 12 月 14 日（火）			

8-Ⅲ. 推薦入試

実施学部及び 募集人員等	教育福祉科学部			
課 程	コ ー ス	選 修	募集 人員	推薦人員
学校教育課程	教科教育コース	技術選修	4	各高等学校等から2名以内
<p>〔出願資格〕</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望する分野への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，かつ，志望する分野の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>注：工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）している場合は，「工業に関する学科・課程，総合学科」からの出願として選抜します。それ以外の場合は，「普通科を含むその他の学科・課程」からの出願として選抜します。</p>				
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，志望理由書，推薦書及び小論文，面接により選考します。			
出 願 期 間	平成22年11月2日（火）～9日（火）（土日及び祝日を除く）			
選 抜 期 日	平成22年12月1日（水）			
合 格 者 発 表 日	平成22年12月14日（火）			

8-Ⅳ. 推薦入試

実施学部及び 募集人員等	教育福祉科学部			
課 程	コ ー ス	分 野	募集 人員	推薦人員
人間福祉科学課程	生活環境福祉コース	環境分野	2	各高等学校等から 2 名以内
<p>〔出願資格〕</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の農，林，水産及び工業に関する学科・課程又は総合学科，理数科を平成 23 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 22 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望する分野への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，かつ，志望する分野の学習に熱意を有する者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 				
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，志望理由書，推薦書及び小論文，面接により選考します。</p>			
出 願 期 間	<p>平成 22 年 11 月 2 日（火）～ 9 日（火）（土日及び祝日を除く）</p>			
選 抜 期 日	<p>平成 22 年 12 月 1 日（水）</p>			
合 格 者 発 表 日	<p>平成 22 年 12 月 14 日（火）</p>			

8-V. 推薦入試

実施学部及び 募集人員等	教育福祉科学部									
課 程	コース	分 野	募集人員	推薦人員						
人間福祉科学課程	生活環境福祉コース	生活分野	2	制限なし						
<p>〔出願資格〕</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成 23 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 22 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望する分野への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学業成績が優秀な者 2. 高等学校等において，「家庭基礎」「家庭総合」「生活技術」などの普通教育に関する科目を除く，「消費生活」「発達と保育」「家庭看護・福祉」「リビングデザイン」「服飾文化」「フードデザイン」などの家庭に関する専門科目を 12 単位以上履修した者 3. 人物的に優れ，かつ，志望する分野の学習に熱意を有する者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 										
選 抜 方 法 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別学力検査を免除し，大学入試センター試験，調査書，志望理由書，推薦書及び面接により選考します。 2. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;"> <p>国 語「国語」 1 科目</p> <p>地 歴「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」 } から</p> <p>公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 1 科目</p> <p>数学①「数学 I」「数学 I・数学 A」 } から</p> <p>数学②「数学 II」「数学 II・数学 B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 } 1 科目</p> <p style="padding-left: 20px;">「情報関係基礎」 } から</p> <p>理科①「理科総合 B」「生物 I」 } から</p> <p>理科②「理科総合 A」「化学 I」 } 1 科目</p> <p>理科③「物理 I」「地学 I」 } から</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から 1 科目</p> </td> <td style="width: 20%; vertical-align: middle; text-align: center;"> <p>から</p> <p>2 科目</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">(2教科 2科目)</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>※ 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校等において，これらの科目を履修した者に限ります。</p> <p>大学入試センター試験「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は，0点ではなく不合格となります。（リスニングテストを免除された者は除く。）</p> <p>入学者選抜の配点にあたっては，まず大学入試センター試験「英語」の筆記試験とリスニングテストの成績の合計点を 200 点満点に圧縮し，他の外国語と比較できるようにします。次に下記の表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし，リスニングテストを免除された者については，筆記試験（200 点満点）の得点のみを利用します。</p>				<p>国 語「国語」 1 科目</p> <p>地 歴「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」 } から</p> <p>公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 1 科目</p> <p>数学①「数学 I」「数学 I・数学 A」 } から</p> <p>数学②「数学 II」「数学 II・数学 B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 } 1 科目</p> <p style="padding-left: 20px;">「情報関係基礎」 } から</p> <p>理科①「理科総合 B」「生物 I」 } から</p> <p>理科②「理科総合 A」「化学 I」 } 1 科目</p> <p>理科③「物理 I」「地学 I」 } から</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から 1 科目</p>	<p>から</p> <p>2 科目</p>	(2教科 2科目)			
<p>国 語「国語」 1 科目</p> <p>地 歴「世界史 A」「世界史 B」「日本史 A」「日本史 B」「地理 A」「地理 B」 } から</p> <p>公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 1 科目</p> <p>数学①「数学 I」「数学 I・数学 A」 } から</p> <p>数学②「数学 II」「数学 II・数学 B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 } 1 科目</p> <p style="padding-left: 20px;">「情報関係基礎」 } から</p> <p>理科①「理科総合 B」「生物 I」 } から</p> <p>理科②「理科総合 A」「化学 I」 } 1 科目</p> <p>理科③「物理 I」「地学 I」 } から</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から 1 科目</p>	<p>から</p> <p>2 科目</p>									
(2教科 2科目)										
出 願 期 間	平成 23 年 1 月 17 日（月）～21 日（金）									
選 抜 期 日	大学入試センター試験：平成 23 年 1 月 15 日（土）・16 日（日） 面 接：平成 23 年 2 月 4 日（金）									
合格者発表日	平成 23 年 2 月 9 日（水）									

大学入試センター試験等の配点

大学入試センター試験									面接	合計
国語	地歴	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	理科③	外国語		
(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	(100)	300	500

〔注〕大学入試センター試験は受験している教科・科目のうち高得点の 2 教科・科目を合否判定に使用します。

教育福祉科学部実技検査等の内容（推薦入試）

（表現力、音楽的能力、造形力、運動能力など当該コース・分野等に関わる資質を評価します。）

課程等		検査項目及び検査の内容																				
学校教育課程	音楽	<p>1 基礎検査 次の2つの検査を行います（全員必須）。</p> <p>(1) 聴音 単旋律の書き取りの検査を行います。</p> <p>(2) コールユーブンゲン コールユーブンゲン第1巻, No.39~85（原書番号）の中から1曲を検査当日指定します。固定ド唱法, 移動ド唱法のいずれかで歌ってください。</p> <p>2 音楽表現の審査 ピアノ, 声楽のいずれかを選択してください。</p> <p>○ピアノ ハイドン, モーツァルト, ベートーヴェンのピアノソナタの中から1曲を選び, 第1楽章又は終楽章（ただし, 緩徐な楽章は除きます。）を暗譜, 繰り返しなしで演奏してください。 （演奏する曲の作曲家・曲名・楽章等は, 所定の曲目調査票に記入の上, 志願書とともに提出してください。）</p> <p>○声楽 次の歌曲の中から1曲を選び, 暗譜, 原語で歌ってください。 （歌う曲の作曲家・曲名は所定の曲目調査票に記入の上, 志願書とともに提出してください。なお, 移調を希望する場合は, 曲目調査票の当該欄に○印をつけ, 伴奏譜を志願書とともに提出してください。伴奏者は本学が用意します。）</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td style="text-align: center;">Intorno all'idol mio</td> <td style="text-align: center;">チェステイ</td> <td style="text-align: center;">作曲</td> <td style="text-align: center;">ホ短調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td style="text-align: center;">Già il sole dal Gange</td> <td style="text-align: center;">A.スカルラッティ</td> <td style="text-align: center;">作曲</td> <td style="text-align: center;">変イ長調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td style="text-align: center;">Sento nel core</td> <td style="text-align: center;">A.スカルラッティ</td> <td style="text-align: center;">作曲</td> <td style="text-align: center;">へ短調</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">*</td> <td style="text-align: center;">ふるさとの</td> <td style="text-align: center;">平井 康三郎</td> <td style="text-align: center;">作曲</td> <td style="text-align: center;">へ長調</td> </tr> </table>	*	Intorno all'idol mio	チェステイ	作曲	ホ短調	*	Già il sole dal Gange	A.スカルラッティ	作曲	変イ長調	*	Sento nel core	A.スカルラッティ	作曲	へ短調	*	ふるさとの	平井 康三郎	作曲	へ長調
	*	Intorno all'idol mio	チェステイ	作曲	ホ短調																	
*	Già il sole dal Gange	A.スカルラッティ	作曲	変イ長調																		
*	Sento nel core	A.スカルラッティ	作曲	へ短調																		
*	ふるさとの	平井 康三郎	作曲	へ長調																		
美術	<p>1 簡単な実技検査：鉛筆により B3 画用紙に静物の描写を行います（1時間）。 ※鉛筆, ネリゴムと消しゴムを持参してください。</p> <p>2 本人持参の作品審査（作品に関する簡単な質疑応答があります）。 ・持参（審査）する作品数は2点。その他参考資料として, 審査対象以外の作品の写真を持参しても構いません。</p> <p>提出作品の大きさ, ジャンル, 形式は問いません。（例：デッサン, 水彩画, 油彩画, 版画, 彫刻, 立体造形, デザイン, 陶芸, 木工, ビデオ, 写真, インスタレーション等） ※本学所定の作品証明書を添付してください。</p>																					

課程等		検査項目及び検査の内容		検査当日持参するもの
情報 社会 文化 課程	総合 表現	実技 検査	次のAからCの中から1項目を選択してください。	
			<p>A. 身体表現：与えられた課題に基づいて、5分程度の身体による作品を創作し、演技してください。</p> <p>B. 美術表現：本人持参の作品審査 (作品に関する簡単な質疑応答があります。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持参(審査)する作品は2点。その他参考資料として、審査対象以外の作品の写真を持参してもかまいません。 ・提出作品の大きさ、ジャンル、形式は問いません。 (例：デッサン、陶芸、木工、ビデオ、写真、インスタレーション等) <p>※本学所定の作品証明書を添付してください。</p>	表現に適した服装。 床面の都合でトウシューズは使用できません。
			<p>C. 音楽表現：次の3つの検査を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新曲視唱 出題された旋律を、固定ド唱法、移動ド唱法のいずれかで歌ってください。 2. 即興演奏 与えられたテーマによって1分間程度の即興演奏をしてください。演奏手段は任意に選んでかまいません。 3. 音楽による自己表現 ※ 任意の楽曲を1曲選び(志願者が作曲した楽曲でもかまいません)、演奏してください。演奏手段は、歌、ピアノのいずれかです。 *本学所定の曲目調査票に演奏曲目等を記入し、志願書とともに提出してください。 *歌の場合は、志願者氏名を明記したピアノ伴奏譜を、志願書、曲目調査票とともに提出してください(伴奏者は本学が用意します)。 	
人間福祉科学課程	心理健康福祉 (スポーツ・健康)	基礎実技	与えられた運動課題を遂行する基礎的能力を検査します。	運動服 屋内用スポーツシューズ

【注1】実技で、昼食が必要な場合には検査時間中に昼食時間帯を設けますので、検査場に昼食を持参してください。

【注2】実技検査等の内容に関する問い合わせについては、出題に抵触する場合がありますので、この内容以外のこととはお答えできません。

【 経済学部 】
一般入試前期日程
一般入試後期日程
推薦入試

経済学部アドミッション・ポリシー

教育理念・目標

本学部は、経済学、経営学を中心にしながら社会科学の諸分野について、基礎から応用・実践に至るまで幅広く学習することを通じて、経済社会の動向を的確に把握し、社会の中核を支える人材を養成することをめざしています。

こうした人たちが今日の高度化・複雑化する社会に柔軟に対応しながら、各方面で真価を發揮するためには、基礎的能力が不可欠です。こうした能力を身につけることは、社会や経済の変化に対する適応力を高めるとともに、創造性を發揮するうえでの基盤になると考えています。また、実社会で活躍するうえで求められる実践力を身につけるためにも基礎的能力が重要です。そこで、学生の基礎的能力を高めることを本学部の教育目的とします。

この目的を達成するために基礎学力を伸ばすことのできる多様な授業、カリキュラムを編成するとともに、少人数教育に基づいたきめ細かな指導によって、論理力、表現力、開かれたコミュニケーション能力や共生する力を育成します。同時に、国際化、情報化などに対応できる能力も育成します。

求める学生像

本学部は、経済社会の諸問題に関心をもつ人に対して、その基礎的能力を高めることを教育の目的としています。

したがって、本学部に入学する人は、経済社会への関心や基礎学力を有すると同時に、自分のもつ学力や能力を伸ばしたいという意欲をもつ学生であってほしいと考えています。とくに、いきいきとした好奇心をもち続けられる人、しっかりした自分もち自己表現ができる人、そして、バイタリティーあふれる人を本学部は求めています。卒業後の進路として、次のような目標をもっている人が入学することを歓迎します。

- ・金融界で活躍することをめざす人（たとえば銀行、保険会社、証券会社の仕事などをめざす人）
- ・産業界で活躍することをめざす人（たとえばメーカー、商社、サービス業の仕事やベンチャービジネスの起業などをめざす人）
- ・公務に携わることをめざす人（たとえば公務員、国税専門官、裁判所職員や警察などの仕事をめざす人）
- ・会計や税務、法務に携わることをめざす人（たとえば公認会計士、税理士、中小企業診断士、社会保険労務士、司法書士などをめざす人）
- ・教育や研究に携わることをめざす人（たとえば高校教員や研究調査の仕事、また大学院進学などをめざす人）
- ・国際社会で活躍することをめざす人（たとえば国際公務員や海外ボランティア、また外国企業で働くことをめざす人）
- ・地域社会で活躍することをめざす人（たとえば県庁・市町村役場やマスコミ、病院、福祉施設などで働くことをめざす人）

《各学科の特色》

本学部は、次の三つの学科によって構成され、それぞれ特色ある授業を提供しています。とりわけ地域経済や地域社会に関する豊富な授業は他大学にはみられない充実したものです。学生は入学時に学科を決めず、基礎を幅広く学んだのち各自の希望に応じて所属学科

を決めますが、学生の多様な関心やニーズに対応し、多面的な学習ができるように所属学科にかかわらず豊富なメニューのなかから自由に選択できるようにしています。

〈経済学科〉

経済学科では、家計、企業、政府などの経済主体の行動から構成される経済現象の全体像について学びます。分析にあたっては、さまざまな経済現象の関連性に着目して、それらの因果関係を明らかにすることを重視します。

〈経営システム学科〉

経営システム学科では、現代企業のかかえる諸問題を正確に分析し、解明するための方法を学びます。基本的には経営学・会計学・商学を中心にして、理論と実践の統合をはかっています。

〈地域システム学科〉

地域システム学科は、地域レベルで生じているさまざまな地域問題を社会学・地理学・社会福祉学・法学・コミュニケーション学などに立脚しながら総合的・学際的にとらえ、その具体的解決策を模索することを目的としています。

入学者選抜の基本方針

経済学部では、一般入試（前期日程、後期日程）のほか、推薦入試（普通推薦、商業推薦）、アドミッション・オフィス入試（AO入試）、社会人入試などを実施し、複数の入学者選抜方式によって多様な人材を受け入れることをめざしています。

・一般入試（前期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は6教科7科目とし、個別学力検査では数学と英語から1教科を選択します。

・一般入試（後期日程）

高等学校において基礎的な学力を修得した学生を選抜するため、大学入試センター試験は5教科5科目とし、個別学力検査では小論文を課します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

・推薦入試（普通推薦、商業推薦）

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接はグループによるディスカッション方式で行い、積極性や理解力、自己表現能力をみます。

・アドミッション・オフィス入試（AO入試）

英語または簿記の能力が高く、そのうえで経済学・経営学等を学び、能力を高めようとする意欲を持つ学生を選抜するため、大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。選抜方法は2段階選抜で、第1次選考は自己推薦書及び調査書等による書類選考とします。第2次選考は小論文及び個人面接とします。

小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。個人面接では、取得資格に関する能力、積極性、自己表現能力をみます。

- ・帰国子女入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・中国引揚者等子女入試

大学入試センター試験を免除し、英語、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・社会人入試

大学入試センター試験と個別学力検査を免除し、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学または英語から1教科選択）、小論文、面接、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力（日本語能力を含む）をみます。面接では、経済社会への知的好奇心や勉学意欲、自己表現能力をみます。

- ・第3年次編入学

英語、小論文、提出書類を総合して選考します。小論文では、社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力をみます。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

経済学部の教育は、高等学校において学習する教科・科目を十分に理解していることを前提として行われます。学生の基礎的能力を高めることが本学部の目標ですので、大学入学までに以下に掲げる能力等を身につけるようにしてください。

国語：資料や文章の読解力や大意把握力、自分の考えを説明するための論理的思考力と表現力

地理歴史・公民：各科目の基礎的な知識と政治、経済、社会の動きに対する知的好奇心と探究心

数学：各科目の内容を理解することに加え、論理的な思考力と応用力（商業推薦の受験者にあっても、簿記に関する同様の思考力と応用力）

理科：各科目の基礎的な知識と自然や科学に対する知的好奇心と探究心

外国語（英語）：資料や文章の読解力と意思疎通のためのコミュニケーション能力、ならびに多様な言語文化に対する関心

9. 経済学部募集人員

学部	学 科【注1】	入学定員	募 集 人 員			
			前期日程	後期日程	推薦入試	AO入試
経済学部	経 済 学 科	130	120	90 【注2】	普通推薦 50 商業推薦 30	英語資格 5 簿記資格 10
	経営システム学科	130				
	地域システム学科	45				
	計	305				

【注1】 経済学部は、入学後に所属学科を決定します。

【注2】 後期日程には次の入試の募集人員を含みます。

・帰 国 子 女 入 試 (若干名)

・中国引揚者等子女入試 (若干名)

(2012年度より、中国引揚者等子女入試を廃止します。)

・社 会 人 入 試 (若干名)

10. 一般入試前期日程

10-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【経済学部・前期日程】

試験区分 学部・学科		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	国語「国語」 1科目	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 英語〔英語Ⅰ・英語Ⅱ・ リーディング・ライティング〕 } から 1教科
		地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」 「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目	
		公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 から1科目	
		数学①「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 から1科目	
		数学②「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 「工業数理基礎」「簿記・会計」 「情報関係基礎」 } から1科目	
		理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 理科③「物理Ⅰ」「地学Ⅰ」 } から1科目	
		外国語「英語」「ドイツ語」 「フランス語」「中国語」「韓国語」 } から1科目 (6教科7科目)	

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」及び〔 〕書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち最高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。) なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

数学Bの出題範囲については、次のとおりです。(数列、ベクトル)

10-II. 個別学力検査の日程【経済学部・前期日程】

検査期日	学 科	検 査 科 目 等	備 考
2月25日(金)	経 済 学 科	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B〕 英語〔英語Ⅰ・英語Ⅱ・ リーディング・ライティング〕	から1教科
	経営システム学科		
	地域システム学科		

【注】当該試験終了まで退室できません。遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後20分です。

10-III. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【経済学部・前期日程】

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験							個別学力検査	合計点
国 語	地 歴	公 民	数学①	数学②	理科①, 理科② 又は理科③	外国語	数学又は英語	
100	100	100	100	100	(100)	200	200	1000

【注1】大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】個別学力検査に必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注3】() 書きの配点の教科・科目については、受験している科目のうち最高得点のものを合否判定に使用します。

【注4】大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

1 1. 一般入試後期日程

1 1 - I. 入学者選抜の実施教科・科目等【経済学部・後期日程】

試験区分 学部・学科		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の 教科・科目等
経済学部	経済学科	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目	小論文
	経営システム学科	数学①「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」	
	地域システム学科	数学②「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」	
		外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (5教科5科目)	

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち最高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)

「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。

なお、入学者選抜の配点にあたっては、次ページの表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

ア) 小論文は、高等学校の段階における総合的な学力到達度を検査する大学入試センター試験を補うものとして、次の資質をみようとするものであり、広く社会科学的素材に基づく出題を行います。ただし、専門的知識・用語は必要としません。

(a) 理解力(あるいは大意把握力) (b) 論理的思考力 (c) 表現力

11-II. 個別学力検査の日程【経済学部・後期日程】

検査期日	学 科	検 査 科 目 等	備 考
3月12日(土)	経 済 学 科	小 論 文	
	経 営 シ ス テ ム 学 科		
	地 域 シ ス テ ム 学 科		

【注】当該試験終了まで退室できません。遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後 20 分です。

11-III. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【経済学部・後期日程】

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験					個別学力検査	合計点
国 語	地 歴	公 民	数学①又は数学②	外国語	小論文	
100	100	100	(100)	100	200	700

【注1】大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注3】() 書きの配点の教科・科目については、受験している科目のうち最高得点のものを合否判定に使用します。

【注4】大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)
「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を 200 点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200 点満点)の得点のみを利用します。

12. 推薦入試

実施学部・学科 及び募集人員等	経 済 学 部	
学 科	募集人員	推薦人員
経 済 学 科	(普通推薦) 50名	各高等学校等から4名以内
経 営 シ ス テ ム 学 科 地 域 シ ス テ ム 学 科	(商業推薦) 30名	制限なし
<p>〔出願資格〕</p> <p>(普通推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の普通科又はその他の学科で本学が普通科に準ずると認める学科・課程（いわゆる職業教育を主とする学科以外の学科）を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2. 校内外を問わず自主的勉学ないし活動において特に優れた成果をあげている者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(商業推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の商業に関する学科・課程又はその他の学科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，商業に関する学科・課程以外を卒業又は卒業見込みの者については，商業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の最終年次における成績が上位10%以内の者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，志望理由書，小論文及び面接により選考します。	
出 願 期 間	平成22年11月 2日（火）～9日（火）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成22年12月 1日（水）	
合 格 者 発 表 日	平成22年12月 14日（火）	

【 医 学 部 】

一般入試前期日程

一般入試後期日程

推薦入試

医学部アドミッション・ポリシー

基本理念

医と看護に関する最新の学術を教育・研究し、高度の医学及び看護学の知識並びに技術、そしてこれらを支える高い倫理観と豊かな教養・人間性を備えた医師或いは看護師・保健師、更には医学、看護学研究者を養成し、これら学問の進歩、国民の健康の維持増進、医療・保健を中心に地域や国際社会の福祉に寄与することが基本理念です。

教育の目標

医学科

患者の立場を理解した全人的医療を行い、豊かな教養と人間性、高度の学識、問題解決能力、生涯学習能力及び国際的視野を備えた医師や研究者を養成します。

看護学科

人々が心身ともに健康な生活を営めるよう、適切な看護を行うことができる専門的知識と技術の習得を促し、看護学の発展と地域住民の保健・医療・福祉の向上、ひいては国際社会への貢献ができるよう、豊かな人間性を備えた人材を養成します。

求める学生像

医学科

- 1 医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- 2 患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた慈愛の心を正しく体得しようとする志を持っている人
- 3 日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を習得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- 4 他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

看護学科

- 1 看護を通して社会に貢献しようとする意志と、他者の喜び、苦しみを分かち合える温かい心を持っている人
- 2 日進月歩の医療及び激動する社会の変化に対応しうる知識と技術の習得のため、たゆまぬ努力と自己研鑽（生涯学習）を重ねる人
- 3 国の内外を問わず、社会に起こっている問題に関心を持ち、それに対して自分の考えが述べられるような教養を備えている人
- 4 何ごとにも積極性を持ち、多くの人と交流ができる社会性を備えている人

入学者選抜の基本方針

医学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、医学科では、一般入試とアドミッション・オフィス入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、医学以外の学問を修めた大学卒業者を対象に2年次後学期への学士編入学を実施しています。

・一般入試（前期日程）

一般入試では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験は5教科7科目を課しています。個別学力検査では、前期日程において、理科（物理・化学・生物

から2科目選択)、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、高等学校等の調査書により受験者の素養を評価します。また、面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

・アドミッション・オフィス入試 (AO 入試)

AO 入試とは、従来の高等学校長による推薦ではなく自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜するものです。一般入試と同じく大学入試センター試験は、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、5教科7科目を課しています。面接では、個人面接と集団面接を行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価します。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価します。

・学士編入学

学士編入学では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施しています。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れた集団面接を行っています。

看護学科

前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、看護学科では、一般入試と推薦入試を実施し、それぞれの選抜の趣旨に従って、多様な観点から受験者の学力や資質を評価しています。また、社会人を対象とした入試や、看護系短期大学・専修学校の卒業者等を対象とした3年次編入学を実施しています。

・一般入試 (前期日程・後期日程)

一般入試では、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験については6教科7科目を課しています。また、個別学力検査については、前期日程では小論文を課すことにより、論理的思考力・表現力・読解力・看護学を学ぶための適性等を評価します。後期日程では面接によりコミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

・推薦入試

推薦入試では、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。また、高等学校長等の推薦書及び調査書から、志願者がどのような高校生活を送ってきたかという学習態度等を評価します。

・社会人入試

社会人入試では、社会人としての経験を看護の分野に生かしてゆくことのできる有能な人材を受け入れるため、大学入試センター試験を免除し、小論文と面接を課しています。小論文では、理解力・統合力・思考力・表現力・独創性・論理性等を評価します。面接では、個人面接と集団面接を行い、看護学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・自己理解力・リーダーシップ・協調性等を評価します。

・3年次編入学

短期大学の看護系学科及び看護系専修学校の卒業者等に、看護に対する専門能力及び指導能力をより高める機会を提供することを目的として、3年次への編入学を実施し、英語と総合問題と面接を課しています。総合問題では、専門基礎科目並びに専門科目に関する基礎知識・問題解決能力・統合能力を測り、面接では、コミュニケーション能力・学習意欲・倫理観等を評価します。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

医学・医療を学ぶには、十分な基礎学力に加えて幅広い教養と他者への共感性、倫理性、社会的常識を備えていることが不可欠です。医学部の教育は、高等学校教育全科にわたって以下に掲げる基礎的な知識、技能、思考力、体力等をバランスよく身につけていることを前提として行なわれます。合格時に不足している項目については、入学までに確実に習得することが必要です。

医学科

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力，論理的思考力，コミュニケーション能力

地理歴史・公民：各科目の基礎的知識，社会的常識と思考力

数学：理系数学（数Ⅲ・数Ⅱの範囲まで）の知識，応用力と数理的思考力

理科：物理Ⅰ・Ⅱ，化学Ⅰ・Ⅱ，生物Ⅰ・Ⅱの知識と理学的思考力

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力，外国語文献を読解し，外国語で発表する基礎的語学力

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能

看護学科

国語：他者の考え・気持ちを理解し、自分の考え・気持ちを伝える十分な読解力と文章力，論理的思考力，コミュニケーション能力

地理歴史・公民：社会科学的な基礎知識と思考力

数学：数学Ⅰまたは数学Ⅱの基礎的知識，応用力と数理的思考力

理科：物理Ⅰ，化学Ⅰ，生物Ⅰの知識と理学的思考力

外国語（英語）：国際的視野に立つ思考力，会話力

保健体育：健康と体力を維持・管理する基礎的知識と技能

13. 医学部募集人員

学部	学 科	入学定員	募 集 人 員			
			前期日程	後期日程	推薦入試	AO入試 【注1】
医 学 部	医 学 科	100	65	0	0	35 【注2】
	看 護 学 科	60	35	15 【注3】	10	0
	計	160	100	15	10	35

【注1】 AO入試の入学手続き者が募集人員に満たなかった場合は、一般入試（前期日程）から補充することがあります。

【注2】 医学科AO入試の募集人員35名には地域枠10名を含みます。

【注3】 看護学科後期日程募集人員には、社会人入試の募集人員（若干名）を含んでおり、合わせて15名です。

14. 一般入試前期日程

14-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【医学部・前期日程】

試験区分		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
学部・学科			
医学部	医学科	国語「国語」 1科目 地歴「世界史B」「日本史B」「地理B」 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } から1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 から1科目 理科①「生物Ⅰ」 理科②「化学Ⅰ」 理科③「物理Ⅰ」 } から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目)	理科〔物理Ⅰ・物理Ⅱ〕 〔化学Ⅰ・化学Ⅱ〕 } から2科目 〔生物Ⅰ・生物Ⅱ〕 } 数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B・数学C〕 1教科 英語〔英語Ⅱ・リーディング・ ライティング〕 1教科 面接 {医学を学ぶための適性、コミュニケーション能力、学習意欲などを総合的に評価します。}
	看護学科	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 から1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 理科③「物理Ⅰ」 } から2科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (6教科7科目)	小論文 {課題式や資料式の小論文について解答させ、論理的思考力、表現力、読解力、及び看護学を学ぶための適性を評価します。}

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」及び〔 〕書きは、科目の区分を示します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

イ) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)

「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、次頁の表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

ウ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】個別学力検査について

ア) 医学科の理科の科目は、試験開始後に2科目選択してください。

イ) 医学科の数学B・数学Cの出題範囲については、次のとおりです。

数学B (数列, ベクトル)

数学C (行列とその応用, 式と曲線)

ウ) 物理は、物理Iと物理IIの全ての項目を出題範囲とします。

エ) 化学は、化学Iと化学IIの全ての項目を出題範囲とします。

オ) 生物は、生物Iと生物IIの全ての項目を出題範囲とします。

14-II. 個別学力検査の日程【医学部・前期日程】

検査期日	学 科	検 査 科 目 等	備 考
2月25日(金)	医 学 科	理科〔物理I・物理II〕〔化学I・化学II〕〔生物I・生物II〕から2科目	
		数学〔数学I・数学II・数学III・数学A・数学B・数学C〕	
		英語〔英語II・リーディング・ライティング〕	
	看護学科	小論文	
2月26日(土)	医 学 科	面接	

【注1】筆記試験は当該試験終了まで退室できません。遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後20分です。

【注2】面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については受験票送付の際にお知らせします。なお、面接集合時刻に遅刻した場合は、面接者の1人目の試験開始時刻までに集合場所へ到着した場合に限り、受験を認めます。

14-III. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【医学部・前期日程】

医 学 科

大学入試センター試験					個別学力検査等					合計点
国 語	地歴又は公民	数学① 数学②	理科① 理科② 理科③	外国語	理 科	数 学	英 語	面 接	調 査 書	
100	(50)	50×2	(50×2)	100	100×2	100	100	200	50	1100

看 護 学 科

大学入試センター試験					個別学力検査	合計点
国 語	地歴 公民	数学①又は 数学②	理科① 理科② 理科③	外国語	小論文	
100	50×2	(100)	(50×2)	100	100	600

【注1】大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注3】() 書きの配点の教科・科目については、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注4】大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く)。「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

15. 一般入試後期日程

15-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【医学部・後期日程】

試験区分 学部・学科		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目等
医 学 部	看護学科	国語「国語」 1科目 地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」から1科目 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」から1科目 数学①「数学Ⅰ・数学A」 数学②「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」 } から1科目 理科①「理科総合B」「生物Ⅰ」 理科②「理科総合A」「化学Ⅰ」 } から2科目 理科③「物理Ⅰ」 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目 (6教科7科目)	面接 {看護学を学ぶための適性, コミュニケーション能力, 学習意欲などを総合的に評価します。}

【注】大学入試センター試験について

- ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。
- イ) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。
- ウ) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)
「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、次頁の表に記載しているセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。
- エ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

15-II. 個別学力検査の日程【医学部・後期日程】

検査期日	学 科	検 査 科 目 等	備 考
3月12日(土)	看護学科	面接	

【注】面接の集合時刻は、午前の部と午後の部で異なります。集合時刻については受験票送付の際にお知らせします。なお、面接集合時刻に遅刻した場合は、面接者の1人目の試験開始時刻までに集合場所へ到着した場合に限り、受験を認めます。

15-III. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【医学部・後期日程】

看護学科

大学入試センター試験					個別学力検査	合計点
国 語	地歴 公民	数学①又は 数学②	理科① 理科② 理科③	外国語	面 接	
100	50×2	(100)	(50×2)	100	100	600

【注1】大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】個別学力検査で必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注3】() 書きの配点の教科・科目については、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注4】大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)
「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

16. 推薦入試

実施学部・学科 及び募集人員等	医 学 部	
学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
看 護 学 科	10 名	各高等学校等から 2 名以内
<p>[出願資格]</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成 23 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 22 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次の要件を満たす者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等における学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評が A 段階に属し，高等学校長等が責任を持って推薦できる者 ※㊶に該当する者については，調査書に㊶と表示してください。 2. 看護職者あるいは看護学研究者として活躍しようとする，はっきりした目的意識を持ち，他者への思いやりと共感，生涯学習への意志と体力を持った者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験を免除し，高等学校長等の推薦書，調査書及び自己推薦書と本学が実施する小論文及び面接の結果を総合評価の上，合格者を決定します。</p>	
出 願 期 間	平成 22 年 11 月 2 日（火）～ 9 日（火）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成 22 年 12 月 1 日（水）	
合 格 者 発 表 日	平成 22 年 12 月 14 日（火）	

【 工 学 部 】

一般入試前期日程

一般入試後期日程

推薦入試

工学部アドミッション・ポリシー

基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

教育の目標

学生の立場にたった教育体制のもとで、自らの課題を探求する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

求める学生像

環境や社会に対する影響も予見しながら自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、先進的科学技術によって人類福祉に貢献する意欲をもち将来への可能性を秘めている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

- 1 工学の基礎をなす科目に対して基礎学力を備え、広範囲な事象に対して強い知的好奇心をもっている人
- 2 新しい課題を自ら見いだす着想力をもち、この課題に立ち向かう強い意志とねばり強さをもっている人
- 3 豊かな感性と表現力をもち、自立的に考えながらも他人と協力・共同して物事を実行していく姿勢をもっている人
- 4 技術者として、国際舞台でリーダーシップと行動力を発揮することに強い意志をもっている人

特に、各学科では、次のような人を求めています。

〈機械・エネルギーシステム工学科〉

本学科は、機械に関する基礎技術と利用技術、メカトロニクス、ロボティクスなどの制御の分野、新エネルギー、エネルギーの有効利用に関する技術開発および利用技術に重点を置く、機械工学・電気工学の総合的な教育と研究を行います。

以上のような教育理念に基づき、本学科では次のような人を求めています。

- 1 数学及び物理に関する基礎学力を備え、国語及び英語に関する基礎的な語学力も有し、自分の意見を論理的に説明できる人
- 2 自ら問題を見だし、計画的にその解決をめざすことができるリーダーシップと行動力をもっている人
- 3 ものづくりに興味があり、そのために必要な深い専門知識を身につけて創造的技術者や研究者となることをめざし、それによって人のために役立ちたいという強い意志をもっている人
- 4 地球規模での課題に問題意識をもち、それらの課題と技術との融合について関心をもっている人

〈電気電子工学科〉

本学科は、電気、電子、情報、通信等に代表される電気電子工学の広範な分野の中で、社会や環境に対する影響も予見しながら、人類の幸福・福祉に役立つ技術とは何かを積極的に考え、技術の発展や学問の進展に貢献することのできる人材の育成を目的にしています。

以上のような観点から、本学科ではつぎのような人を求めます。

- 1 高等学校での基礎的な学習内容をよく理解して、電気電子工学並びに幅広い教養を学ぶための基礎学力をもっている人
- 2 現代社会の抱える課題や科学技術に関心があり、自ら学び理解しようという知的好奇心をもっている人
- 3 何事にも積極的にチャレンジする行動力をもっている人

〈知能情報システム工学科〉

本学科は、人の知を拡大する新世代知的 I T（情報技術）革命の担い手となる国際的技術者・研究者を育てるという教育理念に基づき、次のような人を求めます。

- 1 情報科学の基礎から情報・知能工学の応用までの幅広い学習と研究に取り組むことができる基礎的な能力と旺盛な知的好奇心をもっている人
- 2 高度情報化社会において、新たな課題を自ら見つけだし、解決することを通じて、地域社会や世界に貢献したいという高い志をもっている人
- 3 豊かな感性と表現力・コミュニケーション能力をもち、自ら考えて行動し、夢の実現に向かってチャレンジすることができる人

〈応用化学科〉

私達が将来にわたって地球上で共存し幸福に暮らしていくためには、エネルギー・情報・環境に関して生じてくる複雑な問題を科学的に解決していかなければなりません。化学は物質の存在形態と変化の本質を明らかにしようとする学問ですから、種々の課題の解決における化学の知識と技術の重要性は、新しく形を変えつつますます大きくなってきています。

本学科は、私達の生産活動、毎日の生活や自然現象を化学的な立場から自ら進んで考え、化学技術によって人類福祉に貢献することのできる技術者、研究者の養成を目標にしています。

応用化学科の教職員は、一生懸命自分を高めようと頑張る学生諸君を力いっぱい支援します。

以上の観点から、本学科では次のような高校生や社会人を求めています。

- 1 自然界や人間社会、産業社会のさまざまな現象について常に科学的・化学的観点から興味をもつことができる人
- 2 工学を学ぶために必要な、数学、化学とともに物理あるいは生物について基礎学力をもっている人
- 3 英語、国語の基礎的語学能力をもとに、与えられた課題について論理的かつ自由な発想で考え、意見を発表することができる人
- 4 学習の目標を達成する強い意志をもっている人

〈福祉環境工学科〉

本学科は、すべての人が幸福を感じられる高度福祉社会を、工学的側面から実現するための研究開発と人材養成を行うことを理念にしており、このような目標に向かって努力できる人を求めています。

・建築コース

建築は生活の器として人間に密接な存在であり、都市や地域の環境を構成する基本的な要素です。そのため、建築には自然と共生しながら、人間生活の安全性・快適性を追求し、その質を向上させながら、長年にわたって持続させていくことが要求されます。したがって、自然科学や工学の分野だけでなく、人文、社会科学から芸術にわたる幅広い知識が必要とな

ります。

本コースでは、高度化・多様化・国際化している社会のニーズに対応できる豊かな発想力、豊かな人間性及び幅広い見識を兼ね備えた建築家、建築技術者、研究者の育成を目標としています。そのため本コースでは以下のような意欲と情熱をもつ人を求めています。

- 1 工学，人文，社会科学並びに芸術の分野に関心があり，幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 2 あらゆる立場の人とコミュニケーションできる能力と見識を有する技術者になりたいという旺盛な意欲をもっている人
- 3 自ら課題を見つけだし，それを解決できる行動力と柔軟な思考力を獲得するため努力をする人

・メカトロニクスコース

機械部品と電気部品とその制御装置が複合されたメカトロニクス装置 (= Mechanics + Electronics, ロボットはその一例)は、多くの人の負担を軽減すると共に、今まで人しかできなかった作業も可能にしつつあります。

本コースは、このメカトロニクス装置に関する技術を通じて社会のニーズに貢献するメカトロニクス技術者・研究者の育成を目標とし、次のような人材を求めています。

- 1 自分の力を人々の生活の質の向上に役立てようとする気持ち『福祉マインド』を持ち、これを育もうとする人
- 2 理工学，人文並びに社会科学の分野に関心があり，メカトロニクスに関する幅広い専門知識を身につけ社会に貢献できるエキスパートをめざしている人
- 3 国際的なコミュニケーション能力を有する技術者になりたいという強い意志をもっている人
- 4 自ら課題を見つけだし，それを解決できる行動力と柔軟な思考力をもっている人

入学者選抜の基本方針

本学部では、多様な観点から受験者の学力や資質をみるため、一般入試（前期日程・後期日程）のほか推薦入試，帰国子女入試，私費外国人留学生入試を実施し、アドミッション・ポリシーにそって学生を選考します。

・一般入試（前期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）および個別学力検査（数学，理科）により，専門分野の学習に必要な基礎学力を見ます。

・一般入試（後期日程）

大学入試センター試験（5教科7科目）により，専門分野の学習に必要な基礎学力を見るとともに，個別学力検査（面接）により，専門分野への関心や意欲と自己表現力を見ます。

・推薦入試

大学入試センター試験および個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，小論文Ⅰ，小論文Ⅱおよび面接により総合的に評価し，選抜します。小論文Ⅰでは，現代社会の抱える課題や科学技術への関心・理解，判断力・表現力を見ます。小論文Ⅱでは，いくつかの設問を通じて，基礎学力を含む論理的思考力や課題解決能力を見ます。また面接では，専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに，積極性，自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み，理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

- ・帰国子女入試

大学入試センター試験を免除し、本学で実施する学力検査（数学，理科，英語），面接，提出書類により総合的に評価し，選抜します。面接では，専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに，積極性，自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み，理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

- ・私費外国人留学生入試

日本留学試験ならびに本学で実施する学力検査（数学，理科，英語），面接により総合的に評価し，選抜します。面接では，日本語能力，専門分野への関心・意欲・理解を見るとともに，積極性，自己表現力を見ます。また基礎学力に関する試問も含み，理解力・論理的思考力・表現力についても評価します。

- ・第3年次編入学

面接，提出書類により総合的に評価し，選抜します。面接では，簡単な筆記試験及び口頭試問により，基礎学力や専門分野の学力を見るとともに，専門分野への意欲，積極性，論理的思考力，自己表現力についても評価します。

大学入学までに身につけてほしい教科・科目等

工学部の教育においては，高等学校において学習する下記のような教科・科目の内容を理解していることが望まれます。高等学校の教育課程や入試区分等の違いもあるため，理解のレベルは個人によりそれぞれ異なると思います。不足していると思われる項目については，入学までに身につけるよう期待します。

国語：基礎的な文章読解力，論理的説明能力，作文能力

地理歴史・公民：地理，歴史，経済，社会などの基礎的な知識

数学：「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」，「数学Ⅲ」，「数学A」，「数学B」，「数学C」

理科：「物理Ⅰおよび物理Ⅱ」，「化学Ⅰおよび化学Ⅱ」

外国語（英語）：基礎的な文章読解力およびコミュニケーション能力

17. 工学部募集人員

学部	学 科	入学定員	募 集 人 員			
			前期日程 【注】	後期日程	推薦入試	
工 学 部	機械・エネルギー システム工学科	80	53	15	A推薦 9	
					B推薦 3	
	電 気 電 子 工 学 科	80	50	14	A推薦 13	
					B推薦 3	
	知能情報システム工学科	70	44	11	A推薦 10	
					B推薦 5	
	応 用 化 学 科	60	38	10	A推薦 10	
					B推薦 2	
	福祉環境工学科	建築コース	50	32	10	A推薦 3
		メカトロニ クスコース	30	16	6	A推薦 6
					B推薦 2	
計		370	233	66	71	

【注】前期日程には帰国子女入試（若干名）の募集人員を含みます。

18. 一般入試前期日程

18-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【工学部・前期日程】

試験区分 学部・学科		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査の教科・科目
工 学 部	機械・エネルギー システム工学科	国 語「国語」 1科目	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B・数学C〕 1教科 理科〔物理Ⅰ・物理Ⅱ〕 1教科
	電 気 電 子 工 学 科	地 歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から1科目 公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」	
	知能情報システム工学科	数学①「数学Ⅰ」「数学Ⅰ・数学A」 から1科目 数学②「数学Ⅱ」「数学Ⅱ・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 } から1科目 「情報関係基礎」	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・ 数学A・数学B・数学C〕 1教科 理科〔物理Ⅰ・物理Ⅱ〕 } から1科目 〔化学Ⅰ・化学Ⅱ〕
	応 用 化 学 科	理科②「化学Ⅰ」 1科目	
福 祉 環 境 工 学 科	理科③「物理Ⅰ」 1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目)		

【注1】大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」及び〔 〕書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】個別学力検査について

ア) 第2志望以下の個別学力検査受験科目(理科)は、〔物理Ⅰ・物理Ⅱ〕〔化学Ⅰ・化学Ⅱ〕のいずれでも構いません。

イ) 数学B・数学Cの出題範囲については、下記のとおりです。

・数学B(数列, ベクトル) ・数学C(行列とその応用, 式と曲線)

ウ) 物理Ⅱの出題範囲から除くのは、次のとおりです。(原子・電子と物質の性質, 原子の構造, 原子核と素粒子)

エ) 化学の出題範囲

化学Ⅰ及び化学Ⅱをあわせた範囲から出題します。ただし、化学Ⅱの「生活と物質」, 「生命と物質」の内容を主として含む出題の場合は、背景を説明した上で総合問題として出題する, 選択問題にするなどの配慮を行います。

18-II. 個別学力検査の日程【工学部・前期日程】

検査期日	検査科目等	備考
2月25日(金)	数学〔数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C〕	<ul style="list-style-type: none"> ・当該試験終了まで退室できません。 ・遅刻による試験室への入室限度時刻は、試験開始後20分です。
	物理〔物理Ⅰ・物理Ⅱ〕	
	化学〔化学Ⅰ・化学Ⅱ〕	

18-III. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【工学部・前期日程】

大学入試センター試験							個別学力検査		合計点
国語	地歴又は公民	数学①	数学②	理科②	理科③	外国語	数学	理科	
150	(75)	50	50	50	50	200	200	200	1025

【注1】 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】 個別学力検査に必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注3】 () 書きの配点の教科・科目については、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注4】 大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。) なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

19. 一般入試後期日程

19-I. 入学者選抜の実施教科・科目等【工学部・後期日程】

試験区分 学部・学科		大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目	個別学力検査 の教科・科目	備考
工 学 部	機械・エネルギー システム工学科	国語「国語」 1科目	面 接	
	電気電子工学科	地歴「世界史A」「世界史B」「日本史A」「日本史B」「地理A」「地理B」 } から 公民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } 1科目		
	知能情報システム工学科	数学①「数学I」「数学I・数学A」 から1科目		
	応用化学科	数学②「数学II」「数学II・数学B」「工業数理基礎」「簿記・会計」 } から1科目 「情報関係基礎」 }		
	福祉環境工学科	理科②「化学I」 1科目 理科③「物理I」 1科目 外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目 (5教科7科目)		

【注1】 大学入試センター試験及び個別学力検査について

ア) この表中の「 」書きは、科目の区分を示します。

イ) 複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注2】 大学入試センター試験について

ア) 「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。) なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

イ) 「工業数理基礎」「簿記・会計」「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【注3】 個別学力検査について

ア) 面接では志望学科やそれに関わる分野への関心、意欲、積極性、理解力、自己表現力をみます。

19-II. 個別学力検査の日程【工学部・後期日程】

検査期日	検査科目等	備 考
3月12日(土)	面 接	<ul style="list-style-type: none"> ・試験開始時刻に遅刻した場合は、面接者の1組目または1人目の試験が終了し退室するまでに限り、受験を認めます。 ・面接中に検査場で昼食をとるので、弁当を持参してください。

19-III. 大学入試センター試験及び個別学力検査の配点【工学部・後期日程】

大 学 入 試 セ ン タ ー 試 験							個別学力検査	合計点
国 語	地歴又は公民	数学①	数学②	理科②	理科③	外国語	面 接	
125	(75)	150	150	100	100	200	200	1100

【注1】 大学入試センター試験で本学が指定する教科・科目を受験しなかった場合は、出願資格はありません。

【注2】 個別学力検査に必要な教科・科目を受験しなかった場合は0点ではなく、不合格となります。

【注3】 () 書きの配点の教科・科目については、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【注4】 大学入試センター試験の「英語」はリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。) なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

20-I. 推薦入試

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部	
学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
機械・エネルギー システム工学科	(A推薦) 9名	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて4名以内
	(B推薦) 3名	
<p>[出願資格]</p> <p>(A推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(B推薦) 高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の機械又は電気に関する学科・課程又は総合学科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，小論文（基礎学力に関する試問・設問を含む）及び面接により選考します。	
出 願 期 間	平成22年11月 2日（火）～ 9日（火）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成22年12月 1日（水）～ 2日（木）	
合 格 者 発 表 日	平成22年12月 14日（火）	

20－Ⅱ．推薦入試

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部	
学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
電気電子工学科	(A推薦) 13名	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて3名以内
	(B推薦) 3名	
<p>〔出願資格〕</p> <p>(A推薦)</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者，又は特に物理が優秀な者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(B推薦)</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の電気又は電子に関する学科・課程又は総合学科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者，又は特に物理が優秀な者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，小論文（基礎学力に関する試問・設問を含む）及び面接により選考します。	
出 願 期 間	平成22年11月 2日（火）～ 9日（火）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成22年12月 1日（水）～ 2日（木）	
合 格 者 発 表 日	平成22年12月 14日（火）	

20-Ⅲ. 推薦入試

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部	
学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
知能情報システム工学科	(A推薦) 10名	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて3名以内
	(B推薦) 5名	
<p>〔出願資格〕</p> <p>(A推薦)</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」又は「化学Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(B推薦)</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の情報又は計算機に関する工業系の学科・課程又は総合学科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，情報又は計算機に関する科目8単位以上を含む工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，小論文（基礎学力に関する試問・設問を含む）及び面接により選考します。	
出 願 期 間	平成22年11月 2日（火）～ 9日（火）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成22年12月 1日（水）～ 2日（木）	
合 格 者 発 表 日	平成22年12月 14日（火）	

20-Ⅳ. 推薦入試

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部	
学 科	募 集 人 員	推 薦 人 員
応 用 化 学 科	(A推薦) 10名	制限なし
	(B推薦) 2名	
<p>〔出願資格〕</p> <p>(A推薦)</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 高等学校等において「化学Ⅱ」又は「物理Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 <p>(B推薦)</p> <p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の化学に関する学科・課程又は総合学科を平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科への専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，工業に関する教科・科目を20単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 		
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，小論文（基礎学力に関する試問・設問を含む）及び面接により選考します。	
出 願 期 間	平成22年11月 2日（火）～ 9日（火）（土日及び祝日を除く）	
選 抜 期 日	平成22年12月 1日（水）～ 2日（木）	
合 格 者 発 表 日	平成22年12月 14日（火）	

※応用化学科志願者は検査場を「大分検査場」「東京検査場」のいずれかから選択できます。

20-V. 推薦入試

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部		
学 科	コース	募集人員	推 薦 人 員
福祉環境工学科	建築コース	A 推薦 3名	各高等学校等からA推薦, B推薦合わせて2名以内
		B 推薦 5名	
〔出願資格〕			
(A推薦)			
<p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成23年3月卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。)で，次のすべてに該当し，志望学科・コースへの専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」又は「化学Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 			
(B推薦)			
<p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の建築系又は土木系の学科・課程又は総合学科を平成23年3月卒業見込みの者(外国の高等学校に留学のため，平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。)で，次のすべてに該当し，志望学科・コースへの専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，建築又は土木に関する教科・科目を20単位以上修得(見込みを含む)していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀で，調査書の学習成績概評がA段階に属する者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 			
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，小論文(基礎学力に関する試問・設問を含む)及び面接により選考します。		
出 願 期 間	平成22年11月 2日(火)～9日(火)(土日及び祝日を除く)		
選 抜 期 日	平成22年12月 1日(水)～2日(木)		
合 格 者 発 表 日	平成22年12月14日(火)		

【注】工学部福祉環境工学科には建築コース(50名)とメカトロニクスコース(30名)の2コースがあります。推薦入試の合格者は，入学後は志願時に希望したコースに所属して学びます。

B推薦において，出身学校の学科・課程，履修科目と希望コースが整合しているかどうか疑問の場合は，事前に入試課入試企画グループへ申し出てください。

20－Ⅵ. 推薦入試

実施学部・学科 及び募集人員等	工 学 部		
学 科	コ ー ス	募 集 人 員	推 薦 人 員
福祉環境工学科	メカトロニクスコース	A 推薦 6名	制限なし
		B 推薦 2名	
〔出願資格〕			
(A 推薦)			
<p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成 23 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 22 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科・コースへの専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 高等学校等において「物理Ⅱ」又は「化学Ⅱ」を履修している者 3. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 4. 合格した場合は，入学することを確約できる者 			
(B 推薦)			
<p>高等学校，中等教育学校，特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等の機械系，電気系の学科・課程又は総合学科を平成 23 年 3 月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため，平成 22 年 4 月 1 日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で，次のすべてに該当し，志望学科・コースへの専攻の意志が強く，高等学校長等が責任をもって推薦できる者です。</p> <p>ただし，総合学科卒業見込みの者については，機械，電気に関する教科・科目を 20 単位以上修得（見込みを含む）していなければなりません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等の学習成績が優秀な者 2. 人物的に優れ，本学においても優秀な成績を修め得ると判断される者 3. 合格した場合は，入学することを確約できる者 			
選 抜 方 法 等	<p style="text-align: center;">大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，調査書，推薦書，小論文（基礎学力に関する試問・設問を含む）及び面接により選考します。</p>		
出 願 期 間	平成 22 年 11 月 2 日（火）～ 9 日（火）（土日及び祝日を除く）		
選 抜 期 日	平成 22 年 12 月 1 日（水）～ 2 日（木）		
合 格 者 発 表 日	平成 22 年 12 月 14 日（火）		

【注】工学部福祉環境工学科には建築コース（50名）とメカトロニクスコース（30名）の2コースがあります。推薦入試の合格者は，入学後は志願時に希望したコースに所属して学びます。

B 推薦において，出身学校の学科・課程，履修科目と希望コースが整合しているかどうか疑問の場合は，事前に入試課入試企画グループへ申し出てください。

【教育福祉科学部】

【経済学部】

【医学部】

【工学部】

アドミッション・オフィス入試（AO入試）

帰国子女入試

中国引揚者等子女入試

社会人入試

私費外国人留学生入試

21. アドミッション・オフィス入試(AO入試)

実施学部 学 科 名	経済学部
	経済学科 経営システム学科 地域システム学科
募集人員	15名（英語資格 5名，簿記資格 10名）
<p>〔出願資格〕 次の（１）に該当する者で，かつ（２）の要件を満たし，入学試験に合格した場合は入学することを確約できる者。</p> <p>（１）高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および平成23年3月に卒業見込みの者で，調査書の履修科目全体の評定平均値が3.5以上の者。</p> <p>（２）次のいずれかの資格を有する者。</p> <p style="padding-left: 2em;">（英語資格） 実用英語技能検定（英検）2級以上又はTOEICスコア480点以上</p> <p style="padding-left: 2em;">（簿記資格） 日本商工会議所簿記検定試験（日商簿記）2級以上</p>	
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験と個別学力検査を免除し，小論文，面接，提出書類を総合して選抜します。</p> <p>（１）第1次選考 自己推薦書及び調査書等により選抜します。 自己推薦書及び調査書等では，高校での学習活動，取得資格に関わる活動状況や今後の目標，本学入学後の勉学意欲等についてみます。</p> <p>（２）第2次選考 第1次選考の合格者を対象に，小論文及び個人面接により選抜します。 小論文では社会科学的素材に基づく出題を行い，理解力（あるいは大意把握力），論理的思考力，表現力をみます。個人面接では取得資格に関する能力，積極性，自己表現力をみます。</p>
出 願 期 間	平成 22 年 8 月 23 日（月）～ 8 月 27 日（金）
選 抜 期 日 （第2次選考）	平成 22 年 9 月 30 日（木）
合格者発表日	平成 22 年 10 月 15 日（金）

21. アドミッション・オフィス入試(AO入試)

実施学部 学 科 名	医学部医学科
募集人員	35名（一般枠25名、地域枠10名）
【出願資格】 【一般枠】	<p>高等学校、中等教育学校、特別支援学校及び日本の高等学校と同等の課程を有するとして文部科学大臣が認定している在外教育施設等を平成21年3月以降に卒業した者及び平成23年3月卒業見込みの者（外国の高等学校に留学のため、平成22年4月1日以降学年の途中において卒業と認められた者を含みます。）で、大学入試センター試験の実施教科・科目のうち本学が指定した教科・科目を受験し、かつ、次の要件を満たす者です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校等における学習成績が優秀で、調査書の学習成績概評がA段階に属する者 ※④に該当する者については、調査書に④と表示してください。 2. 臨床医あるいは医学研究者として活躍しようとする、明確な目的意識を持ち、病める人々への思いやりと共感、生涯学習への意志と体力を持った者 3. 合格した場合は、入学することを確約できる者
【地域枠】	<p>上記出願資格に加え、次の要件を満たす者です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県内の小学校又は中学校を卒業し、大学卒業後、大分県の地域医療に貢献したいという強い意志を有する者で、大分県が指定するへき地医療拠点病院にて実施する体験活動（8月中の連続する3日間実施）を受けた者 <p>※ 一般枠と地域枠の併願は認められません。 ※ 平成21年8月に本体験活動を受け、「体験活動日誌」及び「体験活動感想文」を提出済の者については、本体験活動を再度受ける必要はありません。 ※ 本体験活動は、地域枠で出願するために実施するものです。</p>
選 抜 方 法 等	<p>【第1次選考】</p> <p>一般枠、地域枠ともに、大学入試センター試験の成績により第1次選考（一般枠、地域枠ともに募集人員の約2.5倍）を行い、第2次選考の対象者を決定します。 大学入試センター試験日 平成23年1月15日（土）・16日（日）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>国 語「国語」 1科目</p> <p>地 歴「世界史B」「日本史B」「地理B」 公 民「現代社会」「倫理」「政治・経済」 } から1科目</p> <p>数学①「数学Ⅰ・数学A」 1科目</p> <p>数学②「数学Ⅱ・数学B」 1科目</p> <p>理科①「生物Ⅰ」 理科②「化学Ⅰ」 } から2科目 理科③「物理Ⅰ」</p> <p>外国語「英語」「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」 から1科目（5教科7科目）</p> </div> <p>【注】複数の教科・科目から選択できる場合は、受験している教科・科目のうち高得点のものを合否判定に使用します。 「英語」はリスニングテストを含みます。筆記試験とリスニングテストの双方を受験してください。（リスニングテストを免除された者は除く。）「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。なお、入学者選抜の配点にあたっては、本試験で指定するセンター試験の外国語の配点に換算します。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験（200点満点）の得点のみを利用します。</p> <p>【第2次選考】</p> <p>一般枠、地域枠ともに、面接（個人面接及び集団面接）を行い、自己推薦書、調査書、特別活動に関する調査書及び大学入試センター試験の成績を総合的に評価し合格者を決定します。 なお、同点者がいる場合は、大学入試センター試験の総得点の高得点者、大学入試センター試験の理科の高得点者の順に優先します。</p>
出 願 期 間	<p>平成22年11月1日（月）～11月9日（火）（土日及び祝日を除く）</p> <p>〔へき地医療拠点病院体験活動の申込期間（地域枠のみ）〕 平成22年7月7日（水）～7月13日（火）（土日を除く）</p>
選 抜 期 日 （第2次選考）	<p>平成23年2月7日（月） 午前の部：9時00分～ 午後の部：13時00分～</p>
合 格 者 発 表 日	平成23年2月9日（水）
そ の 他	<p>地域枠で入学した学生全員に、大分県医師修学資金が貸与されます。大学卒業後、大分県知事の指定する医療機関において、貸与を受けた期間の2分の3に相当する期間を医師として勤務した場合、全額返還を免除します。</p>

22. 帰国子女入試

	教育福祉科学部	経済学部	工学部	
実施学部 学科名	情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース (心理分野, スポーツ・健康分野)	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	機械・エネルギー システム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注】	
募集人員	若干名 (定員内)	若干名 (定員内)	若干名 (定員内)	
〔出願資格〕 日本の国籍を有する者及び永住者で、保護者の海外勤務等やむを得ない事情により海外に移住し、次のいずれかに該当する者です。				
1. 外国の正規の学校教育における 12 年の課程 (日本における通常の課程による学校教育期間を含みます。) を 2009 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日までに卒業 (修了) した者及び卒業 (修了) 見込みの者で、外国において最終の学年を含め 2 年以上継続して正規の学校教育を受けている者 ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を行っている学校に在学して教育を受けた期間は、外国において学校教育を受けた期間とはみなしません。				
2. 外国及び国内において、スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を 2009 年又は 2010 年に授与された者で、 2011 年 4 月 1 日現在満 18 歳に達している者				
3. 外国及び国内において、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を 2009 年又は 2010 年に授与された者で、 2011 年 4 月 1 日現在満 18 歳に達している者				
4. 外国及び国内において、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を 2009 年又は 2010 年に授与された者で、 2011 年 4 月 1 日現在満 18 歳に達している者				
選 抜 方 法 等	教育福祉科学部	経済学部	工 学 部	
	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、情報社会文化課程総合表現コースの受験者には実技検査を課します。	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。	大学入試センター試験を免除し、学力検査、面接及び提出書類を総合して選考します。 学力検査は下記のとおりです。	
			教科等	科 目
			理 科	「物理Ⅰ・物理Ⅱ」又は「化学Ⅰ・化学Ⅱ」
		英 語	リーディング・ライティング	
		数 学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B	
出 願 期 間	2011 年 1 月 17 日 (月) ~ 21 日 (金)			
選 抜 期 日	2011 年 2 月 4 日 (金)			
合 格 者 発 表 日	2011 年 2 月 10 日 (木)			
そ の 他	工学部の数学Bの出題範囲については、下記のとおりです。 数学B (数列, ベクトル)			

【注】工学部福祉環境工学科には建築コースとメカトロニクスコースの2コースがあります。
 合格者は、志願時に希望したコースに所属して学びます。

23. 中国引揚者等子女入試

実施学部 学 科 名	教育福祉科学部	経 済 学 部【注2】
	学校教育課程 発達教育コース【注1】 〈教育学, 教育心理学, 幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注1】 〈国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭科, 英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野, スポーツ・健康分野〉 生活環境福祉コース 〈生活分野, 環境分野〉	経 済 学 科 経営システム学科 地域システム学科
募集人員	若干名 (定員内)	若干名 (定員内)
〔出願資格〕 日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者、その他これに準ずる者であつて、保護者が引揚者であり、日本国へ引揚げ後、原則として9年以下である者のうち、学校教育法第90条の規定により大学の入学資格を有する者又は大学入学の前までに入学資格を有することとなる見込みの者 ※中国引揚者等子女とは、保護者（父と母、又は父母のいずれか、あるいは祖父母等）が引揚者である者をいいます。また、引揚者とは、終戦前（1945年9月2日以前をいう。）から引続き外国に居住していた者（当該者を親として終戦後外国において出生した者を含む。）で、終戦後はじめて永住の目的をもって帰国した者をいいます。		
選 抜 方 法 等	教育福祉科学部	経 済 学 部
	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。 ただし、教科教育コースの音楽、美術、保健体育選修及び情報社会文化課程総合表現コースの受験者には実技検査を課します。	大学入試センター試験を免除し、英語（英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング）、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。
出 願 期 間	2011年 1月17日（月）～21日（金）	
選 抜 期 日	2011年 2月 4日（金）	
合格者発表日	2011年 2月10日（木）	

【注1】 発達教育コース、教科教育コースの各選修への振り分けは、本人の希望と1年生前学期における成績をもとに、1年生後学期から各選修への所属を決定します。

【注2】 経済学部では、2012年度より中国引揚者等子女入試を廃止します。

24. 社会人入試

実施学部 学科名	教育福祉科学部	経済学部
	情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野, スポーツ・健康分野〉	経済学科 経営システム学科 地域システム学科
募集人員	若干名（定員内）	若干名（定員内）
<p>〔出願資格〕</p> <p>平成23年4月1日現在で、下記1～3に示すいずれかの基礎資格取得後、社会人経験を5年以上有する満23歳以上の者です。</p> <p>なお、社会人経験には、家事従事期間及び定職を持ち定時制、夜間又は通信制の学校（大学を含む）に在学した期間が含まれます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 		
選抜方法等	教育福祉科学部	経済学部
	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。ただし、情報社会文化課程総合表現コースの受験者には実技検査を課します。	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び提出書類を総合して選考します。
出願期間	平成23年 1月17日（月）～21日（金）	
選抜期日	平成23年 2月 4日（金）	
合格者発表日	平成23年 2月10日（木）	

【注】教育福祉科学部情報社会文化課程社会文化コースを志望する者で英検の資格やTOEICスコア等を有する者は、面接の参考資料としますので、資格証明書等の写しを志願書とともに提出してください。

24. 社会人入試

実施学部 学 科 名	医学部看護学科
募集人員	若干名（定員内）
<p>〔出願資格〕</p> <p>次の各号のいずれかに該当する者のうち，平成23年4月1日現在，社会人経験を4年以上有する満25歳以上の者で，合格した場合は入学することを確約できる者。</p> <p>なお，社会人経験には，家事従事期間及び定職を持ち定時制又は通信制の高等学校に在学した期間が含まれます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者 3. 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者 	
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験を免除し，出願書類，小論文及び面接を総合評価の上，合格者を決定します。
出 願 期 間	平成 22 年 8 月 23 日（月）～ 27 日（金）
選 抜 期 日	平成 22 年 9 月 28 日（火）
合格者発表日	平成 22 年 10 月 15 日（金）

25. 私費外国人留学生入試

	教育福祉科学部	経済学部	工学部
実施学部学科名	学校教育課程 発達教育コース【注1】 〈教育学, 教育心理学, 幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注1】 〈国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭科, 英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野, スポーツ・健康分野〉 生活環境福祉コース 〈生活分野, 環境分野〉	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	機械・エネルギー システム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注2】
募集人員	若干名 (定員外)	若干名 (定員外)	若干名 (定員外)
〔出願資格〕 下記1及び2を共に満たしていること。 1. 日本国籍を有しない者で、外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び2011年3月31日までに修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者 2. 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」(過去2年で4回利用可とするが、複数回受験した者は、出願時にいずれかを指定すること)を受験し、学部ごとに下記の要件を満たしている者であること。 (教育福祉科学部) 次頁の教育福祉科学部のコース・分野で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「読解」, 「聴解・聴読解」の総得点及び記述の得点が共に5割以上であること。 (経済学部) 次頁の経済学部で課せられている全試験科目を受験し、日本語の「読解」, 「聴解・聴読解」の総得点が180点以上であること、及び総合科目と数学の得点の合計が200点以上であること。 (工学部) 次頁の工学部で課せられている全試験科目を受験し、日本語の総得点が5割以上であること。			

日本留学試験で課す科目について

	実施学部学科等	利用科目	数学の選択	理科の選択	出題言語
教育福祉科学部	学校教育課程 発達教育コース【注1】 〈教育学, 教育心理学, 幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注1】 〈国語, 社会, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭科, 英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 総合表現コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野, スポーツ・健康分野〉 生活環境福祉コース 〈生活分野〉	日本語 総合科目 数 学	コース1 (文系)	(該当なし)	日本語
	学校教育課程 教科教育コース【注1】 〈数学, 理科, 技術選修〉 情報社会文化課程 情報教育コース 人間福祉科学課程 生活環境福祉コース 〈環境分野〉	日本語 理 科 数 学	コース2 (理系)	物理 } から 化学 } 2科目 生物 }	日本語
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	日本語 総合科目 数 学	コース1 (文系)	(該当なし)	日本語 又は 英 語
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注2】	日本語 理 科 数 学	コース2 (理系)	物理 } から 化学 } 2科目 生物 }	日本語 又は 英 語

出 願 期 間	2011年 1月17日(月)～21日(金)
選 抜 期 日	2011年 2月 4日(金)
合格者発表日	2011年 2月10日(木)
選 抜 方 法 等	日本留学試験並びに本学で実施する学力検査等(次頁)及び出願書類を総合して選考します。

本学で実施する検査科目等について

学部・学科・課程等		検査科目等
教育学部	学校教育課程 発達教育コース【注1】 〈教育学, 教育心理学, 幼年教育選修〉 特別支援教育コース 教科教育コース【注1】 〈国語, 社会, 数学, 理科, 技術, 家庭科, 英語選修〉 情報社会文化課程 社会文化コース 情報教育コース 人間福祉科学課程 社会福祉コース 心理健康福祉コース 〈心理分野〉 生活環境福祉コース 〈生活分野, 環境分野〉	小論文 面接
	学校教育課程 教科教育コース【注1】 〈音楽, 美術, 保健体育選修〉 情報社会文化課程 総合表現コース 人間福祉科学課程 心理健康福祉コース 〈スポーツ・健康分野〉	小論文 面接 簡単な実技検査
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	数学又は英語から1教科 「数学Ⅰ・数学Ⅱ」 「英語Ⅰ・英語Ⅱ・リーディング・ライティング」 小論文 面接
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注2】	理 科 「物理Ⅰ・物理Ⅱ」又は「化学Ⅰ・化学Ⅱ」 から1科目 英 語 「リーディング・ライティング」 数 学 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※出題範囲は 数学B（数列, ベクトル） 面接

【注1】 発達教育コース, 教科教育コースの各選修への振り分けは, 本人の希望と1年生前学期における成績をもとに, 1年生後学期から各選修への所属を決定します。

【注2】 工学部福祉環境工学科には建築コースとメカトロニクスコースの2コースがあります。
 合格者は, 志願時に希望したコースに所属して学びます。

【入学者選抜方法等】

**【平成 23 年度大分大学入学者選抜
の実施教科・科目等一覧表】**

**【平成 24 年度入学者選抜方法について
— 予告 —】**

【募集要項の発表時期・請求方法】

入学者選抜方法等（一般入試，専門高校・総合学科卒業生選抜）【前期日程】

選抜方法等 学部・学科名	個別学力検査等								専門高校・総合学科 卒業生選抜					個別学力検査等の 日程	備考（欠員の補充の方法等）			
	実技検査等					2段階選抜			実技検査等									
	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	第1段階選抜を行いその合格者について更に必要な検査等を行う 主として調査書の内容と大学入試センター試験の成績により	合格者数	第1段階の選抜による	定員に対する倍率	その他	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う			小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	募集人員
教育福祉科学部	学校教育課程（発達教育）	○	×	×	○	×											2月25日(金) 実技検査は 2月26日(土)	追加合格
	学校教育課程（特別支援教育）	○	×	×	○	×												
	学校教育課程（教科教育）	①	①	×	○	×												
	情報社会文化課程（社会文化）	○	×	×	×	×												
	情報社会文化課程（情報教育）	○	×	×	×	×												
	情報社会文化課程（総合表現）	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×			
	人間福祉科学課程（社会福祉）	○	×	×	○	×												
	人間福祉科学課程（心理健康福祉〈心理〉）	○	×	×	○	×												
	人間福祉科学課程（心理健康福祉〈スポーツ・健康〉）	○	○	×	×	×												
	人間福祉科学課程（生活環境福祉）	○	×	×	○	×												
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(金)		
医学部	医学科 看護学科	○ ×	×	○ ×	×	×	○ ○	約3倍 約6倍	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(金) 面接(医学科)は 2月26日(土)		
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	2月25日(金)		

注1. 各欄の○は該当することを，×は該当しないことを示します。
注2. ①は選択する科目によりどちらかが課されます。

入学者選抜方法等（一般入試，専門高校・総合学科卒業生選抜）【後期日程】

選抜方法等	学部・学科名	個別学力検査等							専門高校・総合学科卒業生選抜					備考（欠員の補充の方法等）			
		実技検査等					2段階選抜		実技検査等								
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングテストを課する	主として調査書の内容と大学入試センター試験の成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う。	合格者数	第1段階の選抜による	募集人員	実技検査等						
											定員に対する倍率	その他	個別学力検査を課する		実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する
教育福祉科学部	学校教育課程 （発達教育） （特別支援教育） （教科教育）																
	情報社会文化課程 （社会文化） （情報教育）	×	×	○	×	×											
	人間福祉科学課程 （心理健康福祉〈心理〉） （生活環境福祉〈生活〉） （生活環境福祉〈環境〉）						×	×	×	×	×	×	×	×	×		
	情報社会文化課程 （総合表現） 人間福祉科学課程 （心理健康福祉 〈スポーツ・健康〉）	×	○	×	×	×											
人間福祉科学課程 （社会福祉）	×	×	×	○	×												
経済学部	経済学科 経営システム学科 地域システム学科	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		
医学部	看護学科	×	×	○	×	×	○	約7倍	×	×	×	×	×	×	×		
工学部	機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		

個別学力検査等の日程

3月12日(土)

備考（欠員の補充の方法等）

追加合格

注. 各欄の○は該当することを，×は該当しないことを示します。

入学者選抜方法等（推薦入試等）

選抜方法等 学部・学科名		推薦入試							推薦入試募集人員	A O入試募集人員	帰国子女・社会人等のための入試			備考
		入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し調査書を主な資料として判定します。									帰国子女	中国引揚者等子女	社会人	
		注2	注3	実技検査等				その他						
注2	注3	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する	その他	帰国子女	中国引揚者等子女	社会人					
教育福祉科学部	学校教育課程（発達教育） （教科教育（国語、社会、数学、理科））	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	各募集人員ごとの推薦基準等については各選抜方法（推薦入試、A O入試、帰国子女入試、社会人入試等）を参照してください。
	学校教育課程（特別支援教育）							5						
	学校教育課程（教科教育（英語））							3	×	×	○	×		
	学校教育課程（教科教育（技術））							4						
	学校教育課程（教科教育（家庭科））							3						
	情報社会文化課程（社会文化）	×	○	×	○	○	×	×	5					
	情報社会文化課程（情報教育）								5					
	人間福祉科学課程（社会福祉）								1	×	○	○	○	
	人間福祉科学課程（社会福祉）								5					
	人間福祉科学課程（心理健康福祉（心理））								5					
	人間福祉科学課程（生活環境福祉（環境））								2	×	×	○	×	
	学校教育課程（教科教育（音楽））	×	○	○	○	○	×	×	2					
	学校教育課程（教科教育（美術））	×	○	○	○	×	×	○	2	×	×	○	×	
	学校教育課程（教科教育（保健体育））	×	○	×	○	○	×	×	2					
	情報社会文化課程（総合表現）	×	○	○	○	○	×	×	5	×	○	○	○	
	人間福祉科学課程（心理健康福祉（ボート・健康））								3					
人間福祉科学課程（生活環境福祉（生活））	○	×	×	○	×	×	×	2	×	×	○	×		
経済学部	経済学科	×	○	×	○	○	×	×	50 （普通推薦）	5 （英語資格） 10 （簿記資格）	○	○	○	
	経営システム学科								30 （商業推薦）					
	地域システム学科													
医学部	医学科	×	×	×	×	×	×	×	×	25 （一般枠） 10 （地域枠）	×	×	×	
	看護学科	×	○	×	○	○	×	×	10	×	×	×	○	
工学部	機械・エネルギーシステム工学科								9（A推薦） 3（B推薦）					
	電気電子工学科								13（A推薦） 3（B推薦）					
	知能情報システム工学科	×	○	×	○	○	×	×	10（A推薦） 5（B推薦）	×	○	×	×	
	応用化学科								10（A推薦） 2（B推薦）					
	福祉環境工学科								9（A推薦） 7（B推薦）					

注1. 各欄の○印は該当することを、×印は該当しないことを示します。

注2. 個別学力検査を免除し、大学入試センター試験を課します。

注3. 個別学力検査及び大学入試センター試験を免除します。

平成23年度大分大学入学者選抜の実施教科・科目等一覧表

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成22年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等			
		教科 等	科目名 等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書		配点 計		
教育福祉 科学部 6.8 245人 前期 144 後期 47 その他 54	発達教育 25人 前期 19 後期 6 その他 若干	前期 2月25日	国語	英語	2段階 選抜	センター試験	100	50	50	50×2	50	100						450	中国引揚 外国人 追加合格	
			地理A, 地理Bから1	小論文		個別学力検査							100							200
		公民	現社, 倫, 政経から1	計		100	50	50	100	50	200			100						650
		数学	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1	計2																
		理科	物Ⅰ, 地学Ⅰ, 理総A, 化Ⅰ, 理総B, 生Ⅰから1																	
		外語	英, 独, 仏, 中, 韓から1	[6教科7科目]																
	後期 3月12日	国語	英語	2段階 選抜	センター試験	100	50	50	50×2	50	100							450		
		地理A, 地理Bから1	面接		個別学力検査									100				100		
		公民	現社, 倫, 政経から1		計	100	50	50	100	50	100				100			550		
		数学	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1		計2															
		理科	物Ⅰ, 地学Ⅰ, 理総A, 化Ⅰ, 理総B, 生Ⅰから1																	
		外語	英, 独, 仏, 中, 韓から1		[6教科7科目]															
特別支 援教育 10人 前期 3 後期 2 その他 5	前期 2月25日	国語	国語	2段階 選抜	センター試験	100	50	50	50×2	50	100						450	推薦 中国引揚 外国人 追加合格		
		地理A, 地理Bから1	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1		個別学力検査	(100)			(100)		(100)	100					200			
		公民	現社, 倫, 政経から1		英Ⅱ	計	(200)	50	50	(200)	50	(200)		100					650	
		数学	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1		小論文															
		理科	物Ⅰ, 地学Ⅰ, 理総A, 化Ⅰ, 理総B, 生Ⅰから1		※国語は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」 数Bは「数列, ベクトル」															
		外語	英, 独, 仏, 中, 韓から1		[6教科7科目]															
	後期 3月12日	国語	英語	2段階 選抜	センター試験	100	50	50	50×2	50	100								450	
		地理A, 地理Bから1	面接		個別学力検査									100					100	
		公民	現社, 倫, 政経から1		計	100	50	50	100	50	100				100				550	
		数学	数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1																	
		理科	物Ⅰ, 地学Ⅰ, 理総A, 化Ⅰ, 理総B, 生Ⅰから1																	
		外語	英, 独, 仏, 中, 韓から1		[6教科7科目]															
教科教 育 65人 前期 39 後期 10 その他 16	前期 2月25日	国語	国語	2段階 選抜	センター試験	100	50	50	50×2	50	100						450	推薦 中国引揚 外国人 追加合格		
		数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1	小論文		個別学力検査	100	(50)	(50)	100	(100)	100		100				200			
		地理A, 地理B } ※1	※国語は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」		計	200	(50)	(50)	100	(100)	100		100				650			
		公民	現社, 倫, 政経		社会認識を問う問題															
		理科	物Ⅰ, 地学Ⅰ, 理総A, 化Ⅰ, 理総B, 生Ⅰ } ※1		小論文	センター試験	100	50	50	50×2	50	100							450	
		外語	英, 独, 仏, 中, 韓から1		[5～6教科7科目]	個別学力検査		(50)	(50)	100	50×2		100		100				200	
	後期 3月12日	国語	英語	2段階 選抜	センター試験	100	50	50	50×2	50	100								450	
		数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } ※1		個別学力検査	100	(50)	(50)	100	(100)	100		100				200			
		地理A, 地理B } ※1	※数Bは「数列, ベクトル」		計	100	(50)	(50)	200	(100)	100		100				650			
		公民	現社, 倫, 政経																	
		理科	物Ⅰ, 地学Ⅰ, 理総A, 化Ⅰ, 理総B, 生Ⅰ } ※1																	
		外語	英, 独, 仏, 中, 韓から1		[5～6教科7科目]															

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)

なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

大学入試センター試験の「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【個別学力検査等】欄

前期日程で、教育福祉科学部学校教育課程(教科教育コース)を志望する者は、教科等の組合せからひとつを選択して受験してください。選抜は組合せごとに行います。

前期日程で、教育福祉科学部のうち、特別支援教育コース、情報教育コース、心理健康福祉コース、生活環境福祉コース生活分野を受験する者は、個別学力検査で複数の教科を受験することができます。その場合、受験した教科のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

()で示した点数は、1教科選択を示します。大学入試センター試験において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点のものを合否判定に使用します。前期日程の教育福祉科学部については、個別学力検査において複数の教科・科目から選択となっている場合、複数の教科・科目を受験することができ、その場合、高得点のものを合否判定に使用します。

学部・学科等名及び入学年度〔平成22年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選抜方法等					
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接		調査書	配点計			
教育福祉科学部 6.8 245人 前期 144 後期 47 その他 54	学校教育課程 教科教育 65人 前期 39 後期 10 その他 16	前期 2月25日 前期 2月25日と26日 前期 2月25日 後期 3月12日 前期 2月25日 後期 3月12日	国教 地歴 公民 理 外	国語 数Ⅰ・数Ⅱと 数Ⅱ・数Ⅲ、工、簿、情報から1 計2 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経 物Ⅰ、地学Ⅰ、理総A、化Ⅰ、 理総B、生Ⅰ 英、独、仏、中、韓から1 〔5～6教科7科目〕 ※1 地歴公民から2科目と理科から1科目、又は理科から2科目と地歴公民から1科目	理 その他	物Ⅰ、化Ⅰ、生Ⅰ、地学Ⅰから1 小論文	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100					450				
					その他	実技(音楽) 小論文	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100								200	
					その他	実技(美術) 小論文	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100									200
					その他	実技(保健体育) 小論文	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100									200
					その他	生活認識を問う問題 小論文	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100									200
					外 その他	英Ⅱ 小論文	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100									200
					その他	面接	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100									200
					その他	面接	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100									200
					その他	面接	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100									200
					その他	面接	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100									200
					社会文化 情報社会文化課程 15人 前期 7 後期 3 その他 5	前期 2月25日 後期 3月12日	国 地歴 公民 教 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理Bから1 現社、倫、政経から1 数Ⅰ・数Ⅱと 数Ⅱ・数Ⅲ、工、簿、情報から1 計2 物Ⅰ、地学Ⅰ、理総A、化Ⅰ、 理総B、生Ⅰから1 英、独、仏、中、韓から1 〔6教科7科目〕	国 外	国語 英Ⅱ	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100					450
									その他	面接	センター試験	100	50 (50)	50 (50)	50×2	50 50×2	100					
その他	面接	センター試験	100	50 (50)					50 (50)	50×2	50 50×2	100							200			
その他	面接	センター試験	100	50 (50)					50 (50)	50×2	50 50×2	100							200			
その他	面接	センター試験	100	50 (50)					50 (50)	50×2	50 50×2	100							200			
その他	面接	センター試験	100	50 (50)					50 (50)	50×2	50 50×2	100							200			

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)

なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

大学入試センター試験の「工業基礎」、簿記・会計及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【個別学力検査等】欄

前期日程で、教育福祉科学部学校教育課程(教科教育コース)を志望する者は、教科等の組合せからひとつを選択して受験してください。選抜は組合せごとに行います。

前期日程で、教育福祉科学部のうち、特別支援教育コース、情報教育コース、心理健康福祉コース、生活環境福祉コース生活分野を受験する者は、個別学力検査で複数の教科を受験することができます。その場合、受験した教科のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

()で示した点数は、1教科選択を示します。大学入試センター試験において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点のものを合否判定に使用します。前期日程の教育福祉科学部については、個別学力検査において複数の教科・科目から選択となっている場合、複数の教科・科目を受験することができ、その場合、高得点のものを合否判定に使用します。

学部・学科等名及び入学定率 〔平成22年度志願倍率〕	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選抜方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接		調査書	配点計	
教育福祉科学部 6.8 245人 前期144 後期47 その他54	情報教育 20人 前期11 後期4 その他5	前期 2月25日	国地歴	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1	外数 理	英IIと 数I・数II・数A・数B } から1 教科又は 物I, 化I, 生I, 地学I } は1科目	センター試験	100	(50)	(50)	50×2	50×2	100						450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 外国人 追加合格
			公民数	現社, 倫, 政経 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 } 計2			個別学力検査				(100)	(100)	100							
	理	物I, 地学I, 理総A, 化I, 理総B, 生Iから2 } 計2	計	100	(50)	(50)	(200)	(200)	200									650		
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [5教科7科目]	※数Bは「数列, ベクトル」																	
	後期 3月12日	国数	国語 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 } 計2	その他	面接	センター試験	100			50×2	50	150							400	
	理	物I, 地学I, 理総A, 化I, 理総B, 生Iから1 } 計2	面接	個別学力検査									100						100	
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [4教科5科目]		計	100			100	50	150				100					500		
総合表現 15人 前期7 後期3 その他5	前期 2月26日	国地歴	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 } から1教科 または 2科目	その他	実技	センター試験	100	(100)	(100)	50×2	100							300	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 外国人 追加合格	
		公民数	現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと数II・数B, 工, 簿, 情報から1 } 計2			個別学力検査									350					350
	理	物I, 地学I, 理総A, 化I, 理総B, 生Iから1 } 計2	計	100	(100)	(100)	(100)	(100)	100					350			650			
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [3教科3～4科目]																		
後期 3月12日	国外	国語 英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [2教科2科目]	その他	実技	センター試験	100					100							200		
					個別学力検査								300					300		
					計	100					100			300				500		
人前福祉科学課程 35人 前期24 後期5 その他6	前期 2月25日	国地歴	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 } から1教科 または 2科目	外その他	英II 小論文	センター試験	100	50	50	50×2	50	100							450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 外国人 追加合格
		公民数	現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 } 計2			個別学力検査						100			150					
	理	物I, 地学I, 理総A, 化I, 理総B, 生Iから1 } 計2	計	100	50	50	100	50	200				150					700		
	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [6教科7科目]																		
後期 3月12日	国地歴	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 } から1教科 または 2科目	その他	小論文	センター試験	100	50	50	50×2	50	100							450		
公民数	現社, 倫, 政経から1 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 } 計2	個別学力検査											150					150		
理	物I, 地学I, 理総A, 化I, 理総B, 生Iから1 } 計2	計	100	50	50	100	50	100					150					600		
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 } [6教科7科目]																			

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)

なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

大学入試センター試験の「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【個別学力検査等】欄

前期日程で、教育福祉科学部学校教育課程(教科教育コース)を志望する者は、教科等の組合せからひとつを選択して受験してください。選択は組合せごとに行います。

前期日程で、教育福祉科学部のうち、特別支援教育コース、情報教育コース、心理健康福祉コース、生活環境福祉コース生活分野を受験する者は、個別学力検査で複数の教科を受験することができます。その場合、受験した教科のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

()で示した点数は、1教科選択を示します。大学入試センター試験において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点のものを合否判定に使用します。前期日程の教育福祉科学部については、個別学力検査において複数の教科・科目から選択となっている場合、複数の教科・科目を受験することができ、その場合、高得点のものを合否判定に使用します。

学部・学科等 及び入学定員 〔平成22年度〕 〔志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													特別の選 抜方法等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技	面接	調査書	配点 合計			
教育福祉 科学部 6.8 245人 前期 144 後期 47 その他 54	人間福祉科学課程 心理分野 前期 14 後期 8 その他 8	前期 2月25日	国語	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1	国 数 外 その他	国語 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ 小論文 ※国語は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」 数Bは「数列, ベクトル」	センター試験	100	50	50	50×2	50	100							450	推薦 帰国子女 中国引揚 社会人 外国人 追加合格	
			公民 数	現社, 倫, 政経から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 計2			個別学力検査	(100)		(100)		(100)				150						
		計	(200)	50	50	(200)	50	(200)					150						700			
		後期 3月12日	国語	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1	その他	面接	センター試験	100	50	50	50×2	50	100									450
			公民 数	現社, 倫, 政経から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 計2			個別学力検査								150							150
		計	100	50	50	100	50	100					150						600			
		前期 2月25日と26日	国語	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1	国 数 外 その他	国語 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ 実技 ※国語は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」 数Bは「数列, ベクトル」	センター試験	100	50	50	50×2	50	100									450
			公民 数	現社, 倫, 政経から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 計2			個別学力検査	(100)		(100)		(100)			150							250
		計	(200)	50	50	(200)	50	(200)					150						700			
		後期 3月12日	国語	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1	その他	実技	センター試験	100	50	50	50×2	50	100									450
公民 数	現社, 倫, 政経から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 計2		個別学力検査										150						150			
計	100	50	50	100	50	100					150						600					
生活環境 福祉部 30人 前期 20 後期 6 その他 4	生活分野	前期 2月25日	国語	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1	国 数 外 その他	国語 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B } から1 英Ⅱ 小論文 ※国語は「国語総合」に「国語表現Ⅰ, 現代文, 古典」 数Bは「数列, ベクトル」	センター試験	100	50	50	50×2	50	100							450		
			公民 数	現社, 倫, 政経から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 計2			個別学力検査	(100)		(100)		(100)		150						250		
		計	(200)	(50)	(50)	(200)	(100)	(200)				150						700				
		後期 3月12日	国語	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1	その他	面接	センター試験	100	50	50	50×2	50	100							450		
公民 数	現社, 倫, 政経から1 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 計2	個別学力検査										150					150					
計	100	(50)	(50)	100	(100)	100					150					600						

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)

なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

大学入試センター試験の「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込)者に限ります。

【個別学力検査等】欄

前期日程で、教育福祉科学部学校教育課程(教科教育コース)を志望する者は、教科等の組合せからひとつを選択して受験してください。選抜は組合せごとに行います。

前期日程で、教育福祉科学部のうち、特別支援教育コース、情報教育コース、心理健康福祉コース、生活環境福祉コース生活分野を受験する者は、個別学力検査で複数の教科を受験することができます。その場合、受験した教科のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

()で示した点数は、1教科選択を示します。大学入試センター試験において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点のものを合否判定に使用します。前期日程の教育福祉科学部については、個別学力検査において複数の教科・科目から選択となっている場合、複数の教科・科目を受験することができ、その場合、高得点のものを合否判定に使用します。

学部・学科等名等 及び入学定員等 〔平成22年度〕 志願倍率	学力検査等の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										特別の選抜方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技		面接	調査書	配点計
教育福祉科学部 6.8 245人 前期144 後期47 その他54 人前福祉科学課程 生活環境福祉30人 前期20 後期6 その他4	前期 2月25日	国	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1	理 その他	物I, 化I, 生I, 地学Iから1 小論文	センター試験	100	(50)	(50)	50×2	50×2	100						450	
		公民	現社, 倫, 政経 教I・数Aと 教II・数B, 工, 簿, 情報から1 } 計2			個別学力検査					100			150				250	
			理	物I, 地学I, 理総A, 化I, 理総B, 生Iから2 } 計2			計	100	(50)	(50)	100	200	100						700
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]															
	後期 3月12日	国	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1	その他	面接	センター試験	100	(50)	(50)	50×2	50×2	100							450
		公民	現社, 倫, 政経 教I・数Aと 教II・数B, 工, 簿, 情報から1 } 計2			個別学力検査								150					150
		理	物I, 地学I, 理総A, 化I, 理総B, 生Iから2 } 計2			計	100	(50)	(50)	100	100	100			150			600	
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科7科目]																
経済学部 4.4 305人 前期120 後期90 AO15 その他80	前期 2月25日	国	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 } から1	数 外	数I・数II・数A・数B 英I・英II・リーディング・ライティング	センター試験	100	100	100	100×2	100	200						800	
		公民	現社, 倫, 政経から1 教I, 数I・数Aから1と 教II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 } 計2			個別学力検査				(200)		(200)						200	
		理	物I, 地学I, 理総A, 化I, 理総B, 生Iから1 } 計2			計	100	100	100	(400)	100	(400)						1000	
			外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [6教科7科目]		※数Bは「教列, ベクトル」													
	後期 3月12日	国	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理Bから1 } から1	その他	小論文	センター試験	100	100	100	100		100							500
		公民	現社, 倫, 政経から1 教I, 数I・数A, 教II, 教II・数B, 工, 簿, 情報から1 } 計2			個別学力検査								200					200
		外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 [5教科5科目]			計	100	100	100	100	100	100	200					700	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)

なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

大学入試センター試験の「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【個別学力検査等】欄

前期日程で、教育福祉科学部学校教育課程(教科教育コース)を志望する者は、教科等の組合せからひとつを選択して受験してください。選抜は組合せごとに行います。

前期日程で、教育福祉科学部のうち、特別支援教育コース、情報教育コース、心理健康福祉コース、生活環境福祉コース生活分野を受験する者は、個別学力検査で複数の教科を受験することができます。その場合、受験した教科のうち高得点のものを合否判定に使用します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

()で示した点数は、1教科選択を示します。大学入試センター試験において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点のものを合否判定に使用します。前期日程の教育福祉科学部については、個別学力検査において複数の教科・科目から選択となっている場合、複数の教科・科目を受験することができ、その場合、高得点のものを合否判定に使用します。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成22年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・ 日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等						
		教科	科目名等	教科 等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	小論文	実技		面接	調査書	配 点 計			
医学部 4.4 100人 前期 65 後期 0 AO 35 その他 10	前期 2月25日 後期 2月26日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経 数I・数Aと 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 計2 物I, 化I, 生Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	理 数 外 その他	物I・物II, 化I・化II, 生I・生II から2 数I・数II・数III・数A・数B・数C 英II・リーディング・ライティング ※数Bは「数列、ベクトル」 数Cは「行列とその応用、式と曲線」	前3.0倍	センター試験	100	(50)	(50)	50×2	50×2	100						450	AO入試 追加合格			
							個別学力検査				100	100×2	100										
							計	100	(50)	(50)	200	300	200						200	50	1100		
看護学科 60人 前期 35 後期 15 その他 10	前期 2月25日 後期 3月12日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B から1 現社, 倫, 政経から1 数I・数A, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物I, 理総A, 化I, 理総B, 生Iから2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔6教科7科目〕	その他	小論文	前6.0倍	センター試験	100	50	50	100	50×2	100							500	推薦 社会人 追加合格		
							個別学力検査																
								計	100	50	50	100	100	100							600		
								センター試験	100	50	50	100	50×2	100									500
							個別学力検査															100	100
							計	100	50	50	100	100	100									100	600

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)

なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

大学入試センター試験の「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

() で示した点数は、1教科選択を示します。大学入試センター試験において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点のものを合否判定に使用します。

学部・学科等名 及び入学定員等 〔平成22年度 志願倍率〕	学力検査等の 区分・日程	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											特別の選 抜方法等			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階 選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	家庭	小論文	実技		面接	調査書	配 点 計
工学部 5.4 370人 前期 233 後期 66 その他 71 機械・エネ ルギーシ ステム工学科 80人 前期 53 後期 15 その他 12 電気電子工 学科 80人 前期 50 後期 14 その他 16	前期 2月25 日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数Aから1と 数II、数II・数B、工、簿、情報から1計2 物Iと化I 計2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II		センター試験	150	(75)	(75)	50×2	50×2	200						625	推薦 婦女子女 外国人 追加合格
							個別学力検査				200	200								
	計	150	(75)	(75)	300	300	200											1025		
	後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数Aから1と 数II、数II・数B、工、簿、情報から1計2 物Iと化I 計2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	そ 他	面 接		センター試験	125	(75)	(75)	150×2	100×2	200						900	
						個別学力検査										200		200		
						計	125	(75)	(75)	300	200	200				200		200	1100	
知能情報 システム工学科 70人 前期 44 後期 11 その他 15 応用化学科 60人 前期 38 後期 10 その他 12 福祉環境工 学科 建築 50人 坊ト 30人 計 80人 前期 48 建築 32 坊ト 16 後期 16 建築 10 坊ト 6 その他 16 建築 8 坊ト 8	前期 2月25 日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数Aから1と 数II、数II・数B、工、簿、情報から1計2 物Iと化I 計2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数II・数III・数A・数B・数C 物I・物II、化I・化IIから1		センター試験	150	(75)	(75)	50×2	50×2	200						625	推薦 婦女子女 外国人 追加合格
							個別学力検査				200	200								
	計	150	(75)	(75)	300	300	200											1025		
	後期 3月12 日	国 地歴 公民 数 理 外	国語 世A、世B、日A、日B、 地理A、地理B 現社、倫、政経 数I、数I・数Aから1と 数II、数II・数B、工、簿、情報から1計2 物Iと化I 計2 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕	そ 他	面 接		センター試験	125	(75)	(75)	150×2	100×2	200						900	
						個別学力検査									200		200			
						計	125	(75)	(75)	300	200	200				200		200	1100	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

大学入試センター試験の「英語」にはリスニングテストを含みます。リスニングテストを受験しなかった場合は、出願資格はありません。(リスニングテストを免除された者は除く。)

なお、「英語」の成績は、筆記試験とリスニングテストの合計点を200点満点に圧縮し、他の外国語と比較できるようにします。ただし、リスニングテストを免除された者については、筆記試験(200点満点)の得点のみを利用します。

大学入試センター試験の「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校もしくは中等教育学校において、これらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

() で示した点数は、1教科選択を示します。大学入試センター試験において、複数の教科・科目を受験している場合は、高得点のものを合否判定に使用します。

平成 24 年度入学者選抜方法について—予告—

平成24年度大分大学入学者選抜の実施教科・科目等の平成23年度との主な変更点は次のとおりです。

今後、新たな変更等が生じた場合は、大分大学ホームページ等でお知らせします。

【大学入試センター試験】

平成 24 年度入試以降の大分大学の大学入試センター試験利用教科・科目について変更しました。詳細は、本学ホームページ (<http://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/02gakubu.html>) で公表しています。

【推薦入試】

◎ 教育福祉科学部学校教育課程特別支援教育コースでは、出願資格を下記のとおり変更します。

平成 23 年度入試	平成 24 年度入試
1. 高等学校等の <u>学業成績が優秀な者</u>	1. <u>調査書の学習成績概評がA段階に属する者</u>

◎ 教育福祉科学部学校教育課程教科教育コースでは、募集定員等を下記のとおり変更します。
なお、推薦入試の英語選修は募集を廃止します。

試験区分	選修または試験科目等	平成 23 年度		平成 24 年度	
		募集人員等			
推薦入試	音楽	2	16	2	13
	美術	2		2	
	保健体育	2		2	
	技術	4		4	
	家庭科	3		3	
	英語	<u>3</u>		<u>0</u>	
前期日程	小論文と				
	国語	6 程度	39	6 程度	41
	社会認識を問う問題	6 程度		6 程度	
	数学	6 程度		6 程度	
	理科	6 程度		6 程度	
	音楽	3 程度		3 程度	
	美術	3 程度		3 程度	
	保健体育	3 程度		3 程度	
	生活認識を問う問題	2 程度		2 程度	
	英語	<u>4</u> 程度		<u>6</u> 程度	
後期日程	面接	10		11	

◎ 工学部では、推薦入試の検査項目等を下記のとおり変更します。

学科	平成 23 年度	平成 24 年度
機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科 知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注】	<u>小論文 I</u> <u>小論文 II</u> <u>面接</u>	<u>基礎能力試験</u> <u>面接</u>

【注】工学部福祉環境工学科には建築コースとメカトロニクスコースの2コースがあります。
合格者は、志願時に希望したコースに所属して学びます。

◎ 工学部機械・エネルギーシステム工学科及び応用化学科では、出願資格を下記のとおり変更します。

平成 23 年度入試	平成 24 年度入試
(A 推薦) 1. 高等学校等の <u>学習成績が優秀な者</u>	(A 推薦) 1. 高等学校等の学習成績が優秀で、 <u>調査書の学習成績概評が A 段階に属する者</u>
(B 推薦) 1. 高等学校等の <u>学習成績が優秀な者</u>	(B 推薦) 1. 高等学校等の学習成績が優秀で、 <u>調査書の学習成績概評が A 段階に属する者</u>

◎ 工学部福祉環境工学科(建築コース)では、推薦入試の A 推薦の募集を廃止し、募集定員等を下記のとおり変更します。

平成 23 年度			平成 24 年度		
推薦入試	A 推薦	<u>3</u>	推薦入試	A 推薦	<u>0</u>
	B 推薦	5		B 推薦	5
前期日程		<u>32</u>	前期日程		<u>35</u>
後期日程		10	後期日程		10
合計		50	合計		50

【AO入試】

経済学部では第1次選考の合格者数を英語資格・簿記資格とも募集人員の3倍程度から2倍程度に変更します。

【特別入試】

◎ 経済学部では、中国引揚者等子女入試を廃止します。

◎ 工学部では、特別入試の「帰国子女入試」，「私費外国人留学生入試」の検査科目等を下記のとおり変更します。

学 科	平成 23 年度	平成 24 年度
機械・エネルギーシステム工学科 電気電子工学科	理科 <u>「物理Ⅰ・物理Ⅱ」</u> 又は <u>「化学Ⅰ・化学Ⅱ」から1科目</u> 英語 「リーディング・ライティング」	理科 <u>「物理Ⅰ・物理Ⅱ」</u> 英語 「リーディング・ライティング」 数学 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※出題範囲は 数学B（数列，ベクトル） 面接
知能情報システム工学科 応用化学科 福祉環境工学科【注】	数学 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※出題範囲は 数学B（数列，ベクトル） 面接	理科 「物理Ⅰ・物理Ⅱ」 又は 「化学Ⅰ・化学Ⅱ」から1科目 英語 「リーディング・ライティング」 数学 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 ※出題範囲は 数学B（数列，ベクトル） 面接

【注】工学部福祉環境工学科には建築コースとメカトロニクスコースの2コースがあります。合格者は、志願時に希望したコースに所属して学びます。

募集要項の発表時期・請求方法

1. 募集要項の発表

出願手続, 出願書類, 出願期日, 案内図, その他の必要な事項を記載した学生募集要項を, 次のとおり発表する予定です。

- (1) 一般入試学生募集要項……………12月上旬
- (2) 推薦入試学生募集要項……………10月上旬
- (3) 帰国子女入試, 中国引揚者等子女入試, 社会人入試(教育福祉科学部, 経済学部),
私費外国人留学生入試学生募集要項……………12月上旬
- (4) A〇入試(経済学部, 医学部)学生募集要項……………6月中旬
- (5) 医学部看護学科社会人入試学生募集要項……………7月下旬

2. 募集要項の請求方法

入試別 請求方法 (配布期間)	一般入試	推薦入試 A〇入試	帰国子女入試, 社会人入試, 中国引揚者等子女入試, 私費外国人留学生入試
郵送により本学に直接請求する場合	返信用封筒(角型2号の封筒に宛名を明記し, 580円切手を貼ったもの)を下記あてに郵送してください。なお, どの募集要項が必要か明記してください。大学からは, 請求のあった要項と大学案内を返送します。		
テレメールで請求する場合 (推薦入試は 11月2日まで) (一般入試は 1月26日まで) ※配布期間後は, 本学に直接請求してください。  テレメール	・本学ホームページから資料請求する場合のアドレス http://www.oita-u.ac.jp/ →入試情報 →資料請求 ・携帯電話で請求する場合のアドレス http://telemail.jp/ 携帯電話コード  ※対応する携帯電話で読み取れます。 ・下記の電話番号に電話し, ガイダンスに従い希望する資料番号, 送付先等を入力してください。受付から2~3日程度で資料と手数料等支払方法の書類が送付されます。ただし, 郵送開始日までのご請求は予約受付となり, 郵送開始日になりましたら一斉に郵送します。送料は, お届けする資料に同封された支払方法によりお支払ください。 1. 電話番号 (IP電話) 050-8601-0101 ※IP電話 一般回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。 2. 資料請求番号 大学案内……………587882 一般入試募集要項……………587852 一般入試募集要項+大学案内……………547952 推薦入試募集要項……………587862 A〇入試募集要項(経済学部)……………547972 A〇入試募集要項(医学部)……………547992		
郵便局等で請求する場合 (10月より案内開始, 1月24日まで) ※配布期間後は, 本学に直接請求してください。	郵便局, 高等学校及び予備校に設置されている「全国国公立大学・短期大学, 私立大学・短期大学募集要項(願書)請求申込書」の払込取扱票に必要事項を記入し, 郵便局窓口で現金を添えて申し込んでください。受付から1週間程度で郵送されます。		

※募集要項等は大大学学生支援部入試課でも配布しています。
(休日を除く月~金 9時~17時)

※学生募集要項等請求及び問い合わせ先

〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
 大分大学学生支援部入試課入試企画グループ
 TEL 097-554-7471 FAX 097-554-7472
 E-mail nyusiken@oita-u.ac.jp

テレメールについての問い合わせ先
 テレメールカスタマーセンター
 電話 050-8601-0102
 (9:30~18:00)